

〔尼崎青少年創造劇場の管理・運営（概要）〕

1 ピッコロシアター鑑賞劇場等

優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場（10 事業 14 公演 2,817 人）を開催するとともに
県民参加型イベント「ピッコロフェスティバル」（39 団体 4,373 人）を開催した。

（1）シアタースタート

「おもちゃの広場」（7 月）／「くわえ・ぱぺっとステージ「ぷっかり ぽっかり」」（9 月）

※0～3 歳児と子育て中の保護者などを対象にした劇場体験事業

（2）劇団うりんこ「クローゼット Q」（6 月）

（3）文学座「昭和虞美人草」（9 月）

（4）青年団「馬留徳三郎の一日」（12 月）

（5）ピッコロ寄席 桂米朝一門による 5 公演（5 月～3 月）

「桂ざこば一門会」、「桂枝雀一門 南光・雀三郎・文之助 三人会」、「桂吉朝一門会」、
「桂米團治独演会」、「子どもと楽しむ落語会」

2 ピッコロ劇団事業等

多彩な舞台公演（本公演、ファミリー劇場、わくわくステージなど（49 公演 9,648 人）を開催するとともに、劇場へのアクセシビリティを高める鑑賞サポートを実施した。

（1）本公演

「やわらかい服を着て」（7 月） 作＝永井愛／演出＝眞山直則（ピッコロ劇団員）

「スターマン」（9～10 月） 作／演出＝岩松了

「ロボットーRURー」（2 月） 作＝カレル・チャペック／翻訳＝田才益夫／演出＝高橋正徳（文学座）

（2）オフシアター Vol. 39「バックネット委員会」（4 月）

（3）ファミリー劇場「森のなかの海賊船～こそあどの森の物語～」（8 月～12 月）

原作＝岡田淳（理論社刊）／台本＝秋浜悟史／潤色・演出＝平井久美子（ピッコロ劇団員）／音楽＝園田容子

（4）ピッコロ・わくわくステージ「森のなかの海賊船～こそあどの森の物語～」（5～6 月、11 月～12 月）

※中学生向けピッコロ劇団演劇鑑賞体験事業 35 校 4,460 人が鑑賞

（5）おでかけステージ（10 月～11 月）

「タラレバ幽霊とタカラの山」 台本＝谷口雅美・原 竹志（ピッコロ劇団員）／演出＝原 竹志

※観劇機会の少ない子どもたちの演劇鑑賞体験事業（県内小学校体育館等での上演）

（6）演劇の指導・ワークショップへの派遣（派遣数：60 か所）

（7）鑑賞サポート

音声ガイド付き公演（3 公演） バリアフリー字幕付き公演（5 公演）、舞台手話通訳付き公演（2 公演）

3 人材育成・体験活動事業

（1）ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校の運営

演劇学校 本科（20 名修了）、研究科（17 名修了）、舞台技術学校（20 名修了）

（2）文化セミナー（1 回）、文化セミナーラボ（3 回）（8 月～3 月）

「演劇のタクラミ～地域で創るということ 岩松了×平田オリザ」（335 人）

（3）ひょうごプレミアム芸術デー（7 月）

特別イベント「ピッコロで演劇を楽しもう」（舞台技術体験、舞台衣装の展示、おはなし BOX など）（304 人）

（4）ピッコロ実技教室（7 月～8 月）

「まわしよみ新聞&演劇ワークショップ〈壁新聞を演じてみる〉」、「ちゃっと！

狂言～入門編～」（8 月）、「演劇ワークショップ「40 歳からのワンコイン演劇講座」

（8 月）、「ピッコロオペラ教室「オペラの楽しみ方」」（8 月）

（5）研修生や県立芸術文化観光専門職大学（9 名）等の受け入れ

4 施設の管理運営事業

【ホール等利用実績】

区 分	利用者数（人）			利用率（％）		
	30 年度	4 年度	5 年度	30 年度	4 年度	5 年度
計	130,284	76,849	98,616	92.7	89.5	92.7

〔尼崎青少年創造劇場の管理・運営（評価）〕

1 ピッコロシアター鑑賞劇場等

- (1) 鑑賞劇場、ピッコロフェスティバル等の事業を予定通り実施することができた。依然として観客の観劇心理がコロナ禍前に完全に回復するには至っていないが、公演数が増加したことにより令和5年度の入場者は、昨年度より2,239人増加した。(令和4年度：4,951人)
- (2) 鑑賞劇場入場者のアンケートでは、満足度(「とてもよかった」「よかった」)は、演劇88.8%、伝統芸能87.3%と高い評価を得た。

2 ピッコロ劇団事業等

- (1) 台風の影響や出演者の体調不良により3公演が中止となったが、それ以外の公演は予定通り実施することができた。入場者は9,648人となり昨年度より微減した。(令和4年度：10,301人)
- (2) 観客アンケート調査での満足度(「とてもよかった」・「よかった」)は、本公演で83.1%、ファミリー劇場公演で85.9%、わくわくステージで生徒88.7%、教員81.2%と高い評価が得られた。また、わくわくステージの生徒アンケートでは、「また演劇を見たい」との回答が86.1%となり、演劇文化の裾野の拡大に寄与することができた。
- (3) 聴覚・視覚障害者への鑑賞サポートや在日外国人を対象とした全国的にも珍しいワークショップなど、当劇場がこれまで取り組んできた社会包摂事業が高く評価され、先導的な取組として大学やシンポジウム等での講演依頼があるなど全国的にも注目されている。
※ 在日外国人を対象としたワークショップの功績により、ひょうご国際交流団体連絡協議会「草の根国際功労賞表彰」を受賞した。

3 人材育成事業・体験活動事業

- (1) ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校の運営は、公立劇場では全国初の取組であり、これまでに、演劇学校本科1,287名、同研究科775名、舞台技術学校864名の計2,926名の卒業生を輩出している。(令和5年度生卒業まで。令和2年度体験プログラム修了生を除く)卒業生の中には、劇団や舞台制作会社などに就職する者がいるなど、地域文化を担う人材の育成に貢献した。(満足度調査結果：全体で92.8%)
- (2) 令和4年度から、舞台芸術の魅力を掘り下げる文化セミナーラボを本格的に展開するとともに、公演にまつわる舞台手話通訳を取り上げるなどの新たな切り口により、ピッコロシアターに初めて来館する顧客を開拓するなどの成果を上げた。(観客アンケート調査での満足度87%)
- (3) 県立芸術文化観光専門職大学のカリキュラムとして、劇場プロデュース実習で3名、プロデュース実習で6名の学生を各々10日間受け入れ、人材育成の連携を深めた。

4 施設の管理運営事業

- (1) 令和5年度の利用者数は、前年度から約28%増の98,616人、利用率もコロナ禍前の水準に概ね戻っているものの、コロナ禍前との比較では約8割にとどまっており、本格的な回復には至っていない。引き続き、施設の安全・安心な管理運営の下、魅力的な事業をより多く提供することにより利用者数の回復に努めていく。
- (2) ピッコロシアター満足度調査(R5.11.1～12.28実施)では、開館時間で利用者の87.1%、施設サービスで89.7%、清潔さで93.2%、スタッフ態度で98.3%、施設全体で97.4%が「満足」又は「大変満足」と回答しており、利用者からは概ね高い評価を受けている。

〔尼崎青少年創造劇場の管理・運営（詳細）〕

1 主催公演事業

（１）ピッコロシアター鑑賞劇場

県民文化の高揚と地域文化の振興を図るため、演劇、伝統芸能、音楽（室内楽）などの優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場を開催した。

また、子どもと大人が一緒に楽しめる演劇や落語会など、明日のひょうごを担う子どもたちに優れた舞台芸術にふれる機会を提供した。

事業名	公演年月日	出演者等 ※ ピッコロ劇団員	入場者数
ピッコロ寄席 「桂ざこば一門会」 (大ホール)	5. 5. 13	出演＝ざこば、塩鯛、米紫、 ひろば、りょうば	272
劇団うりんこ公演 「クローゼットQ」 (大ホール)	5. 6. 10	脚本・演出 ＝田辺剛（下鴨車窓） 出演＝大谷勇次、下出祐子ほか	191
シアタースタート関連事業 「おもちゃの広場」 (中ホール)	5. 7. 29 (2公演)	おもちゃコンサルタント 竹之下裕美	64
ピッコロ寄席 「桂枝雀一門 南光・雀三郎・ 文之助 三人会」 (大ホール)	5. 8. 12	出演＝南光、雀三郎、文之 助、雀五郎、天吾	370
文学座公演 「昭和虞美人草」 (大ホール)	5. 9. 2～3 (2公演)	作＝マキノノゾミ 演出＝西川信廣 出演＝早坂直家、上田直介ほか	564
シアタースタート くわえ・ぱぺっとステージ 「ぷっかり ぽっかり」 (中ホール)	5. 9. 15 (2公演)	作・演出＝つげくわえ	83
青年団プロデュース 「馬留徳三郎の一日」 (大ホール)	5. 12. 8～9 (2公演)	作＝高山さなえ（高山植物園） 演出＝平田オリザ 出演＝田村勝彦（文学座）、羽 場睦子（フリー）ほか	368
ピッコロ寄席 「桂吉朝一門会」 (大ホール)	5. 12. 16	出演＝あさ吉、吉弥、よね 吉、吉坊、吉の丞	387
ピッコロ寄席 「桂米團治独演会」 (大ホール)	6. 2. 3	出演＝米團治、浅野美希（三 味線）、慶治朗、弥壱	355
ピッコロ寄席 「子どもと楽しむ落語会」 (大ホール)	6. 3. 9	出演＝吉弥、小鯛、弥壱	163
合 計 10事業			2,817

(2) ピッコロフェスティバル

開館記念日（8月19日）を中心に約1カ月にわたり、地域で創造活動に取り組む若者等の演劇、音楽などの成果発表と交流の場として、施設を無償提供するとともに、その鑑賞等を通じた舞台芸術に親しむ機会とするため、県民の参加と協働による「ピッコロフェスティバル」を開催した。

時期：令和5年7月29日（土）～9月3日（日）

場所：ピッコロシアター各ホール

区分	部 門 等	参加 団体	出演者数 参加者数	入場者数
県民参加 企画	小・中・高校演劇	7	201	731
	大学演劇・一般演劇	4	87	256
地域団体 連携企画	バリアフリーコンサート	9	100	63
	人形劇フェスタ阪神	12	120	155
	令和の演劇向上委員会	1	30	130
体験企画	まわしよみ新聞&演劇ワークショップ 「壁新聞を演じてみる」	—	4	17
	40歳からのワンコイン演劇講座	—	1	23
	ちゃっと！狂言～入門編～	1	3	25
	オペラの楽しみ方	—	1	75
特別企画	シアタースタート関連事業「おもちゃの広場」（再掲）	—	3	64
	ピッコロ劇団ファミリー劇場公演 「森のなかの海賊船～こそあどの森の物語～」 （再掲）	1	30	756
	文化セミナー<102>「演劇のタクラミ～地域で創 るということ 岩松了×平田オリザ」	—	2	335
	ピッコロ寄席 桂枝雀一門 桂文之助の会（再掲）	1	8	370
	鑑賞劇場 文学座公演「昭和虞美人草」（再掲）	1	35	564
協賛企画	エデュケーションワークショップ 「D I E コース in 関西」	1	4	7
	関西二期会オペラ研修所修了オペラ公演	1	24	150
合 計		39	653	3,720

2 ピッコロ劇団公演事業

尼崎青少年創造劇場が長年培ってきた人材育成事業の集大成として創設した県立ピッコロ劇団が、優れた舞台芸術の創造と地域文化の振興をめざして、ピッコロシアター等での演劇公演を中心に、演劇指導、外部出演など多彩な活動を展開した。

【設 立】平成6年4月1日

【劇団代表】岩松 了（劇作家・演出家・俳優）

【客 員】鵜山 仁（演出家＝文学座）、
喜志哲雄（京都大学名誉教授）、
杉本了三（演劇プロデューサー）、
内藤裕敬（劇作家・演出家＝南河内万歳一座）

【劇 団 員】35名（男19名、女16名）（R6.3.31現在）

(1) 劇団公演の実施

大人向け、ファミリー向け、小・中学生向けなど、幅広く良質の創作演劇を提供した。

事業名	公演年月日	出演者等 ※はピッコロ劇団員	入場者数
オフシアターVol. 39 「バックネット委員会」 (中ホール)	5. 4. 7 ～9 (5公演)	作＝伊地知克介 演出＝岡田力(※) 出演＝ピッコロ劇団員	400
わくわくステージ(5～6月期) 「森のなかの海賊船～こそあどの森の物語～」(ファミリー劇場と同演目) (大ホール)	5. 5. 24 ～6. 1 (8公演) ※1	原作＝岡田淳(理論社刊) 台本＝秋浜悟史 潤色・演出＝平井久美子(※) 音楽＝園田容子 出演＝ピッコロ劇団員	1,852
わくわくステージ(11～12月期) 「森のなかの海賊船～こそあどの森の物語～」(ファミリー劇場と同演目) (大ホール)	5. 11. 24 ～12. 1 (6公演)		1,360
ファミリー劇場 「森のなかの海賊船～こそあどの森の物語～」 (大ホール)	5. 8. 5 ～6 (4公演)		755
ファミリー劇場 「森のなかの海賊船～こそあどの森の物語～」 (県立芸術文化センター 阪急 中ホール)	5. 12. 23 ～24 (3公演)		909
わくわくステージ(市町ホール公演) 「森のなかの海賊船～こそあどの森の物語～」(ファミリー劇場と同演目) (赤穂化成ハーモニーホール)	5. 6. 9 (2公演)		1,248
第76回公演 「やわらかい服を着て」 (大ホール)	5. 7. 21 ～25 (5公演) ※2	作＝永井愛 演出＝眞山直則(※) 出演＝ピッコロ劇団員	692
第77回公演 「スターマン」 (大ホール)	5. 9. 30 ～10. 5 (6公演)	作・演出／岩松了 出演＝ピッコロ劇団員 ＜岩松了 連続アフタートーク＞ 9/30 劇作家 肥田知浩(第8回「近松賞」受賞者) 10/1 劇作家 山本正典(コトリ会議)&原竹志(※) 10/1 劇作家・演出家 角ひろみ (10/3,4来場者限定動画 劇作家土田英生(MOMO)) 10/5 高校生2名(公募)	906
おでかけステージ(小学校公演) 「タラレバ幽霊とタカラの山」 (せんだい演劇工房 10-BOX、 上郡町立高田小学校、 尼崎市内生涯学習プラザ)	5. 10. 28 10. 31 11. 4 11. 11 (5公演)	台本＝谷口雅美／原 竹志(※) 演出＝原 竹志(※) 出演＝ピッコロ劇団員	485
第78回公演 ピッコロシアタープロデュース 「ロボット～RUR～」 (県立芸術文化センター 阪急 中ホール)	6. 2. 23 ～25 (5公演)	作＝カレル・チャペック 翻訳＝田才益夫 演出＝高橋正徳(文学座) 出演＝ピッコロ劇団員ほか オーディションにより関西俳優陣5名が出演	1,041
合 計 10事業 (※)ピッコロ劇団員			9,648

※1 台風接近による警報発令のため6.2の2公演は中止。一部の学校は秋公演に振替

※2 出演する劇団員の体調不良により7.23開催予定だった1公演を中止

(参考 1) 多様なアクセシビリティに配慮した鑑賞サポートの実施状況

◆ 視覚障害のある方向けに音声ガイド付き公演を実施

(1) わくわくステージ「森のなかの海賊船～こそあどの森の物語～」

(5. 12. 1 大ホール)

(2) ファミリー劇場「森のなかの海賊船～こそあどの森の物語～」

(5. 12. 23、24 芸術文化センター阪急中ホール)

ピッコロ劇団員による音声ガイドの実施

台本作成：菅原ゆうき／ナレーション：木下鮎美

◆ 聴覚障害のある方向けにバリアフリー字幕付き公演を実施(舞台上で表示)

(1) わくわくステージ「森のなかの海賊船～こそあどの森の物語～」

(5. 5. 25 大ホール)

(2) ファミリー劇場「森のなかの海賊船～こそあどの森の物語～」

(5. 8. 5 大ホール)

ピッコロ劇団員による字幕の実施

字幕作成：菅原ゆうき、オペレーション：吉江麻樹

(3) ピッコロ劇団第 76 回公演「やわらかい服を着て」5. 7. 21、22)

ピッコロ劇団員によるバリアフリー字幕の実施

字幕作成：菅原ゆうき オペレーション：有川理沙

◆ 聴覚障害のある方向けにピッコロ劇団おはなし BOX に手話通訳付きで上演
ひょうごプレミアム芸術デー「ピッコロで演劇に親しもう！」(5. 7. 15)

(参考 2) わくわくステージ参加校数等の推移

年度		公演 数	参加校数	鑑賞者数			年度計
				生徒	教員 その他	計	
平成 22 年度		5	7 校(公立 5、私立 2)	1, 314	84	1, 398	1, 398
平成 23 年度		10	13 校(公立 8、私立 5)	2, 509	154	2, 663	2, 663
平成 24 年度		10	17 校(公立 11、私立 6)	2, 828	252	3, 080	3, 080
平成 25 年度		12	25 校(公立 18、私立 7)	3, 750	335	4, 085	4, 085
平成 26 年度	6 月	8	13 校(公立 9、私立 4)	1, 972	159	2, 131	5, 238
	10 月	8	13 校(公立 8、私立 5)	2, 926	181	3, 107	
平成 27 年度	6 月	10	19 校(公立 15、私立 4)	3, 272	212	3, 484	5, 711
	10 月	8	15 校(公立 8、私立 7)	2, 091	136	2, 227	
平成 28 年度	6 月	12	32 校(公立 23、私立 9)	3, 136	286	3, 422	6, 041
	11 月	8	16 校(公立 12、私立 4)	2, 446	173	2, 619	
平成 29 年度	6 月	11	31 校(公立 21、私立 10)	3, 074	276	3, 350	5, 976
	11 月	8	14 校(公立 10、私立 4)	2, 447	179	2, 626	
平成 30 年度	6 月	14	36 校(公立 25、私立 11)	3, 692	329	4, 021	5, 660
	11 月	6	13 校(公立 11、私立 2)	1, 477	104	1, 639	
令和 元年度	6 月	12	29 校(公立 20、私立 9)	3, 075	391	3, 466	5, 728
	11 月	8	23 校(公立 19、私立 4)	2, 088	174	2, 262	
令和 2 年度	6 月	—	(コロナ禍により中止)	—	—	—	1, 602
	11 月	10	21 校(公立 14、私立 7)	1, 466	136	1, 602	
令和 3 年度	6 月	8	8 校(公立 2、私立 6)	846	85	931	2, 365
	11 月	9	14 校(公立 11、私立 3)	1, 311	123	1, 434	
令和 4 年度	6 月	9	18 校(公立 6、私立 12)	1, 942	153	2, 095	3, 880
	11 月	7	17 校(公立 15、私立 2)	1, 634	151	1, 785	
令和 5 年度	6 月	10	19 校(公立 10、私立 9)	2, 746	354	3, 100	4, 460
	11 月	6	16 校(公立 10、私立 6)	1, 228	132	1, 360	

(注) 上記表には中学校以外の学校も含む。(特別支援学校、神出学園、山の学校、私立高校など例年数校程度)

(2) 演劇の指導

大学や高等学校等に劇団員を指導者として派遣することによる演劇ワークショップ等を県下各地で開催した。また、ピッコロ演劇学校においては、本科及び研究科の主任講師、助手をピッコロ劇団員が通年で担当した。

指導先、指導事業名	劇団員	実施 年月日	実施場所等
ピッコロ演劇学校 本科	山田裕 菅原ゆうき 杏華	通年	ピッコロシアター
ピッコロ演劇学校 研究科	島守辰明	通年	ピッコロシアター
兵庫県立宝塚北高校 非常勤講師	孫高宏	通年	県立宝塚北高校
兵庫県立伊丹北高校 非常勤講師	吉江麻樹	通年	県立伊丹北高校
プール学院高等学校 非常勤講師	杏華 菅原ゆうき	通年	プール学院高等学校(大阪市)
四天王寺中学校 非常勤講師	山田 裕 檜村千晶	通年	四天王寺中学校(大阪市)
大阪芸術大学 非常勤講師	本田千恵子	通年	大阪芸術大学
近畿大学 非常勤講師	島守辰明	通年	近畿大学
クラーク記念国際高校芦屋 キャンパス 非常勤講師	中川義文	通年	クラーク記念国際高校 芦屋キャンパス
大阪アニメ・声優&eスポーツ 専門学校 非常勤講師	中川義文	通年	大阪アニメ・声優&eスポ ーツ専門学校
ホスピタリティ ツーリズム専 門学校大阪 非常勤講師	檜村千晶	通年	ホスピタリティ ツーリズム 専門学校大阪(大阪市)
ヒューマンアカデミー神戸校 非常勤講師	眞山直則	通年	ヒューマンアカデミー神戸校
エイベックス・アーティストア カデミー大阪校 非常勤講師	眞山直則	通年	エイベックス・アーティス トアカデミー大阪校
【新規】ABC みかげ保育園 非常勤講師	亀井妙子	通年(6.20~)	ABC みかげ保育園
児童劇団「リトル・ぐらん」 上演指導・演出	風太郎	通年	新沢地区公民館(橿原市)
やんちゃんこ劇団 上演指導・演出	風太郎 吉江麻樹 有川理沙	通年	中央北生涯学習プラザほか (尼崎市)
コトリ会議 客員	原 竹志	通年	
豊岡市新任職員研修 講師	本田千恵子 檜村千晶	5.4.5	豊岡市健康福祉施設
関西学院大学文学部人文学総 合 非常勤講師	本田千恵子	5.4.17、 4.24	関西学院大学
兵庫県立神崎高校コミュニケ ーション能力育成研修 講師	本田千恵子 三坂賢二郎	5.4.18	兵庫県立神崎高校
キング醸造(株)新入職員研修 講師	本田千恵子 三坂賢二郎	5.4.21	キング醸造(株)(稲美町)
兵庫県立夢野台高校教育・心理 類型表現力育成向上ワークシ ョップ 特別非常勤講師	菅原ゆうき 三坂賢二郎	5.4.24、 12.14、12.18	県立夢野台高校

兵庫県立西宮北高校 3 年生 文化祭演劇指導 講師	山田裕 吉江麻樹	5.4.17、5.8、 5.24、6.3	兵庫県立西宮北高校
西宮市立西宮東高校 文化祭上演指導 講師	島守辰明 今井佐知子 風太郎	5.4.26、 5.25、 5.31、6.10	西宮市立西宮東高校
兵庫県立神戸鈴蘭台高校 3 年生 文化祭演劇指導 講師	島守辰明 吉江麻樹 山田裕 有川理沙	5.4.28、 6.7	県立神戸鈴蘭台高校
関西学院大学 非常勤講師	島守辰明	5.5.1、5.8、 5.15、5.22、 5.29	関西学院大学
【あつまれピッコロひろば】 養父市立建屋小学校演劇ワー クショップ 講師	孫高宏 吉江麻樹	5.5.16、 6.12	養父市立建屋小学校
池田市立五月山児童文化セン ター子どもたちのためのパン トマイム 講座講師	菅原ゆうき	5.5.20、 6.17、 7.15	池田市立五月山児童文化 センター
兵庫県立鳴尾高校 3 年生 文化祭演劇指導 講師	山田 裕 杏華	5.5.29、 6.5、6.13	県立鳴尾高校
【あつまれピッコロひろば】 尼崎市文化振興財団 演劇ワークショップ 講師	亀井妙子	5.6.7	尼崎市立園田北小学校
	森万紀 山田裕	5.12.22	尼崎市立下坂部小学校
県立教育研修所 令和5年度高等学校 初任者研修校外研修 講師	本田千恵子 有川理沙	5.6.8、 6.15、6.22	県立教育研修所
【新規】高槻中学校 3 年生 国語科戯 曲創作指導 講師	島守辰明	5.6.8、 6.29	高槻中学校（大阪府）
兵庫県立伊丹北高校 文化祭上演事前指導 講師	山田裕 吉江麻樹	5.6.10	県立伊丹北高校
【新規】日本マネジメント学会 研究会「共生社会とアートマネ ジメント」 講師	本田千恵子 菅原ゆうき	5.6.11	アカデミックスペース 「本のある工場」（大阪市）
日本劇団協議会やってみよう プロジェクト「ワークショップ にほんごであそぼう！」 講師	本田千恵子 菅原ゆうき 木村美憂	5.6.17、 10.8、 10.9	小野市うるおい交流館エクラ
	本田千恵子 菅原ゆうき 鈴木あぐり	6.1.21、 2.4	加東市役所
【新規】ピッコロ演劇学校集中講 義「ういろう売せりふ」 講師	孫高宏	5.6.25	ピッコロシアター 中ホール
京田辺シュタイナー学校 2023 年度教員養成講座 講師	本田千恵子	5.7.15、 7.16、 7.17、 7.22	京田辺シュタイナー学校
【新規】池田市立五月山児童文化 センター 演劇を体験してみよう ～体を使って楽しく学ぶ！～講師	菅原ゆうき	5.7.29	池田市立五月山児童文化 センター
【新規】アフタースクールコド シア「社会人とのふれあい講座 【俳優・原竹志さん】」	原竹志	5.8.1	アフタースクールコドシ ア（神戸市）

兵庫県自治研修所 行政特別研修 講師	本田千恵子 檜村千晶 三坂賢二郎	5. 8. 8	兵庫県自治研修所
ピッコロ実技教室 まわしよみ新聞&演劇ワークショップ〈壁新聞を演じてみる〉 講師	本田千恵子 三坂賢二郎 有川理沙	5. 8. 9	ピッコロシアター 小ホール
【新規】劇団自由人会 夏季集中ワークショップ 演劇基礎講座 講師	島守辰明	5. 8. 12	芦屋市民センター
エデュケーションワークショップ 2023 D I E コース i n 関西 アシスタント	本田千恵子	5. 8. 22 ～24	ピッコロシアター 小ホール
【新規】パーキンソン病疾患高齢者対象の演劇ワークショップ講師	木村美憂	5. 8～ (随時)	宝塚市、大阪市、堺市他
【新規】「ことばをあそぼう！」ワークショップトライアル+シンポジウム 講師	菅原ゆうき	5. 9. 18	アートコミュニティスペース KAIKA (京都市)
【新規】ピッコロシアター文化セミナーラボ(4)直観読みブックメーカー～岩松了編～ 助手	野秋裕香	5. 10. 3	ピッコロシアター閲覧室
【あつまれピッコロひろば】養父市立建屋小学校上演指導 講師	孫高宏 吉江麻樹 浜崎大介	5. 10. 10、 11. 6、11. 14	養父市立建屋小学校
兵庫県立こどもの館 兵庫県児童館連絡協議会 児童厚生員等研修会 講師	亀井妙子 森万紀 山田裕	5. 10. 12	尼崎市立すこやかプラザ
新国立劇場演劇研修所 講師	島守辰明	5. 10、 12. 4～20	新国立劇場演劇研修所 (東京都)
アソブダケ 演劇ワークショップ 講師	木村美憂	5. 11. 4、 6. 3. 23	服部緑地都市植物園内 (大阪府)
【新規】尼崎医療生協病院 脚本指導・演技指導 講師	風太郎	5. 11. 10、 17、30	尼崎医療生協病院
【新規】国際電気セミコンダクターサービス労働組合演劇ワークショップ 講師	菅原ゆうき	5. 11. 18	富山県民会館 (富山県)
第 25 回身体障害者補助犬シンポジウム 紙芝居上演指導 講師	吉江麻樹	5. 11. 26	宝塚市立中央図書館
県立神出学園ワークショップ 講師	山田裕	5. 12. 12	県立神出学園
【新規】ワークショップ にほんご de あそぼう 講師	本田千恵子 三坂賢二郎 有川理沙	5. 12. 17	三木市立市民活動センター
【新規】認定 NPO 法人コミュニティ・サポートセンター神戸 新しいつながりを創出するワークショップ 演劇ワークショップ 講師	本田千恵子	6. 1. 13	子どもの居場所 kiten (きてん) (神戸市)
西宮市立西宮東高等学校 文化祭上演事前指導 講師	島守辰明	6. 3. 6	西宮市立西宮東高等学校
兵庫県立伊丹北高等学校 文化祭上演事前指導 講師	山田 裕	6. 3. 18	兵庫県立伊丹北高等学校

(3) 外部出演等

他劇団、地域団体等の依頼を受け、演劇公演、放送等での出演や演出などに劇団員を派遣した。

事業等名	劇団員	実施年月日	開催場所
サンテレビ「稲妻ムービーマーケット」 出演	風太郎	5.4.3～(放映)	サンテレビ
横尾忠則現代美術館「横尾忠則原郷の森」 展会場内効果音 出演	森 好文 森 万紀 今仲ひろし 風太郎 三坂賢二郎	5.5.27～8.27 (展示)	横尾忠則現代美術館(神戸市)
ラジオ関西「平田オリザの舞台は但馬」 出演	樫村千晶	5.6.29 (放送)	ラジオ関西
「日本の劇」戯曲賞2023 第一次選考審査員	眞山直則 島守辰明	5.7、8	(公社)日本劇団協議会
第1回躍動カフェ (阪神南地域) 参加者	吉江麻樹	5.7.8	関西学院会館レセプションホール(西宮市)
ひょうごプレミアム芸術デー おはなしBOX 企画・作曲・出演	風太郎 吉江麻樹 橘 義 有川理沙	5.7.12～13 7.15	ピッコロシアター中ホール
NHK FM 「タイパな私の生きる道」	風太郎	5.7.15(放送)	NHK FM
県立西宮今津高校 職業人インタビュー話し手	杏華	5.7.25	ピッコロシアター事務室
映画「豊宇兄弟」 出演	風太郎	5.8.5～(公開)	シネ・ヌーヴォ(大阪市)ほか
地蔵盆ミュージカル「へこきクマのプッププー」 人形制作	風太郎	5.8.19、20	一心寺シアター倶楽(大阪市)
NHK 連続テレビ小説 「ブギウギ」 出演	森 好文 岡田 力 今仲ひろし 孫 高宏	5.10.2～(放送)	NHK
明石弦楽オペラ会 弦楽四重奏によるオペラ第5回公演「愛の妙薬」 演出	中川義文	5.10.8	明石市民会館中ホール
三俣婦人会 第四次総会「湾で泳ぐ犬」 出演	風太郎	5.11.3～5	大阪市立芸術創造館
遊劇体#66『なんじゃ主水』 出演	孫高宏	5.11.24～26	THEATRE E9 KYOTO(京都市)
西北活性化協議会 にしきたクリスマスイベント with プッチーニ 司会	本田千恵子	5.12.10	兵庫県立芸術文化センター1階エントランス
神戸市立盲学校 職業人インタビュー 話し手	亀井妙子	5.12.12	オンライン
尼崎市立北図書館 おはなしBOX 企画・出演	風太郎 吉江麻樹 有川理沙	5.12.16	尼崎市立北図書館

みんなのあま咲放送局 「あま咲きイブニング」やんち やんこ劇団 出演	風太郎	5. 12. 26 (放送)	みんなのあま咲き放送局
NHK FM 青春アドベンチャー 「死にたがりの君に贈る物語」 出演	岡田 力	6. 1. 16 ～19	NHK FM
神戸新聞 震災関連特集取材 話し手（劇団 30 周年、被災地 激励活動、東北との交流等）	平井久美子 吉村祐樹	6. 1. 25	神戸新聞取材
ABC 朝日放送「ニュースおかえり」取材（被災地激励活動）出演	孫高宏	6. 1. 16 (放送)	ABC 朝日放送
毎日新聞「時の展望台」取材 話し手（劇団創立、被災地激励 活動、劇団 30 周年等）	孫高宏 平井久美子 森好文	6. 1. 17 (掲載)	毎日新聞夕刊（全国版）
おはなし BOX in 赤穂市 企画・出演	風太郎 吉江麻樹 有川理沙	6. 2. 3	赤穂市文化会館赤穂化成 ハーモニーホール資料室
コトリ会議 1ヶ月たっぷり公演「雨降り のヌエ」 出演	原 竹志	6. 3. 9 ～30	扇町ミュージアムキュー ブ CUBE05
やんちゃんこ劇団第4回公演 「2Girls 2人の女の子の物 語」 台本・演出・音楽・振付	風太郎 吉江麻樹 有川理沙	6. 3. 23 ～24	尼崎市立中央北生涯学習 プラザ
尼崎市子育てサークル実行委員 会おはなし BOX 企画・出演	風太郎 吉江麻樹 有川理沙	6. 3. 28	尼崎市立すこやかプラザ
D計画第3弾「恋する看護師」 協力	木之下由香	6. 3. 30 ～4. 1	WINNER（伊丹市）

（メディア出演）

○CM出演

- ・三坂賢二郎「JR 西日本 観光ナビアプリ tabiwa」（ラジオ）
- ・岡田 力 「アマゾンフレックス」（ラジオ）
「らくおう」（テレビ・出演）
「カーネクスト クルマダンナ編」（TV（ナレーション））
- ・菅原ゆうき「ニンジャコード」（ナレーション）
「侍ジャパン応援CM」（ナレーション）
「KUZUHA MALL（くずはモール）2023 リニューアル」（ラジオ）

（４）ピッコロサポートクラブへの支援

尼崎商工会議所等が中心となって、平成8年に設立されたピッコロ劇団の後援会組織である「ピッコロサポートクラブ」の活動支援として、情報誌『into』発行など会員向けサービス事業を共同実施した。

【会員数(口数)】 法人会員・個人会員計 345 口（R6. 3. 31 現在）

【情報誌の発行】 年4回発行（A5版、20ページ）、約10,000部発行

【会員向け事業】 ピッコロ劇団公演チケット優待、稽古場見学会、茶話会、総会・交流会など。また、会員共通特典として、ピッコロシアター自主事業の1割引、優先予約など。

3 人材育成・体験活動事業

(1) ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校の運営

演劇創造について幅広く学ぶ演劇学校（本科 昭和 58 年開設、研究科 昭和 59 年開設）、音響・照明・美術などの基礎技術を学ぶ舞台技術学校（平成 4 年開設）を運営している。関西・日本を代表する演劇人、舞台技術者等を講師陣に迎え、プロ、アマチュアを問わない演劇関係人材や地域の文化活動リーダー、文化施設スタッフ等の養成を継続した。

区 分	ピッコロ演劇学校		ピッコロ舞台技術学校
概 要	舞台づくりの楽しさや面白さを味わいながら、表現力や創造力を身につける等、将来の演劇創造者、地域に根差した文化活動リーダーを養成		クリエイティブな地域文化のステージづくりと文化施設運営の活性化を図るため、舞台芸術を支える美術、照明、音響の舞台技術者を養成
期 間	5. 4. 25～6. 3. 3（本科、研究科）		5. 4. 25～6. 3. 3（音響、照明、美術）
場 所	ピッコロシアター		ピッコロシアター、 県立芸術文化センター（特別授業）
授 業	原則、毎週 2 回（火・木の夜間）		原則、毎週 2 回（水・金の夜間）
講 師	■本科 ▶主任講師 山田 裕（※） 助手 菅原ゆうき（※） 他 ■研究科 ▶主任講師 島守辰明（※） 他		■美術コース ▶主任講師 加藤登美子（大阪芸術大学准教授・舞台美術家） ■照明コース ▶主任講師 水野雅彦（舞台照明家） ■音響コース ▶主任講師 金子彰宏（県立芸術文化センター舞台技術部副部長 兼主任舞台技術専門員）
特別講師	平田オリザ、岩松 了、鐘下辰男他		山北史郎、服部 基、堀尾幸男
生 徒	本科 入学 24 名 修了 20 名	研究科 入学 18 名 修了 17 名	入学 21 名 修了 20 名 〔美術 3 名、照明 7 名、音響 10 名〕

※はピッコロ劇団員

【特別講義】

区 分	期 日	特 別 講 師	講義テーマ
演劇学校	5. 5. 20～21	平田オリザ（劇作家・演出家、劇団青年団主宰、芸術文化観光専門職大学学長）	演劇を学ぶとは…
	5. 10. 7～8	岩松 了（劇作家、演出家、俳優、県立ピッコロ劇団代表）	演劇的な言葉について
	6. 1. 27～28	鐘下辰男（劇作家・演出家、演劇企画集団 THE ガジラ主宰、桜美林大学教授）	演技の基本
舞台技術学校	5. 7. 8～9	山北史郎（サウンドデザイナー、（株）山北舞台音響 代表取締役）	音の話～音響効果の基礎～
	5. 11. 11～12	服部 基（舞台照明家、（株）ライティングカンパニーあかり組 顧問）	舞台照明を考える
	5. 11. 25～26	堀尾幸男（舞台美術家、（株）ホリオ 代表取締役）	舞台美術のはじまり

【中間発表会 2023 Piccolo Passo ～小さな一歩～】

区 分	期 日	公 演 概 要	観客数
演劇学校本科 40 期生	5. 10. 28	「スマホ～4つのオムニバス～」	64
	5. 10. 29		61
演劇学校研究 科 39 期生	5. 11. 4	「悪魔の降りた町 ～アーサー・ミラー作『るつぽ』より～」	68
	5. 11. 5		48

【オープンキャンパス】

区 分	期 日	概 要	参加者数
舞台技術学校	5. 12. 19	学校説明、オペレーション体験、バックステージツアー	23
演劇学校	6. 1. 14	学校説明、現役学校生と一緒に身体訓練等の授業体験	30

【卒業公演（大ホール）】

区 分	期 日	公 演 概 要	観客数
演劇学校 本科 40 期生 舞台技術学校 31 期生	6. 3. 2～3	演目「十二夜」 作＝W. シェークスピア 訳＝松岡和子 潤色・演出＝山田裕（※） 出演＝演劇学校本科 40 期生 20 名 美術プラン・製作・操作 ＝舞台技術学校生美術コース 3 名 照明プラン・操作 ＝舞台技術学校生照明コース 7 名 音響プラン・編集・操作 ＝舞台技術学校生音響コース 10 名	477
演劇学校 研究科 39 期生		演目「悪魔の降りた町」 原作＝アーサー・ミラー「るつぽ」 台本・演出＝島守辰明（※） 出演＝演劇学校研究科 39 期生 17 名	

※はピッコロ劇団員

（２）ピッコロ・山根演劇賞の贈呈

令和５年度のピッコロ演劇学校生及び舞台技術学校生のうち成績優秀で他の模範となる者及びピッコロ劇団員のうち優れた演劇活動を行った者に贈呈した。

対 象 者	備 考
演劇学校本科(40 期生) 演劇学校研究科 (39 期生) 舞台技術学校 (31 期生) 各 1 名計 3 名	サントリー地域文化賞の副賞をもとに平成元年 3 月に創設。 その後、神戸新聞奨励賞、久留島武彦文化賞、紀伊國屋演劇賞の賞金、山根淑子氏の寄付等により基金額を増額。
原 竹志 政香 里沙 ピッコロ劇団員 2 名	

（３）ピッコロシアター文化セミナー

著名な舞台人による講演、専門家による伝統芸術の紹介・解説などの教養講座を開催し、舞台芸術への関心を高め、地域文化の振興を推進した。

(大ホール)

事 業 名	期 日	出演者等	入場者
<102> 岩松了×平田オリザ 「演劇のタクラミ～ 地域で創るということ」	5. 8. 29	岩松了 (劇作家・演出家、俳優、ピッコロ劇団代表) 平田オリザ (芸術文化観光専門職大学学長)	335

(4) ピッコロシアター文化セミナーラボ

従来の文化セミナーに加え、これまでピッコロシアターに馴染みのなかった層にも理解者・ファンを広げるため、舞台芸術の周辺での興味深いテーマを扱う、小規模の実験的なセミナーを開催した。
(小ホール)

事業名	期 日	出演者等	入場者
「直観読みブックマーカー ～岩松了編」	5. 10. 3	陸奥 賢(直観読みブックマーカー考案者) 助手 野秋裕香(ピッコロ劇団員)	17
「舞台手話通訳ってなんだろう？ ～みんなで一緒に舞台を楽しむためには？～」	6. 1. 21	下坂幸恵(NPO 法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク)(演劇学校卒業生)	69
「劇場で学ぶ！」～ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校 卒業生が語る学びと今～	6. 3. 3	本校卒業生 13 名	35

(5) ひょうごプレミアム芸術デー

特別イベント「ピッコロで演劇を楽しもう」

7月12日(水)～7月15日(土) 10:00～17:00 [参加者 304 人]

- ・舞台技術体験
- ・舞台や劇場の映像体験
- ・舞台衣装や小道具の展示
- ・ピッコロ劇団おはなし BOX 7/12(水)(1公演)、7/13(木)(1公演)、7/15(土)(舞台手話通訳付きで2公演)

(6) 研修生等の受け入れ

開かれた劇場として、インターンシップをはじめとした研修生(中学生、高校生、大学生、教職員等)を、年間を通して内外から受け入れた。

《5年度の受入状況》

- ・県立芸術文化観光専門職大学研修(3回生3名、3回生6名)、その他大学(8名)、高校生(6名)、中学生「トライやるウィーク」(10名)
- ・劇場見学：大阪府立咲くやこの花高等学校演劇科 34名
尼崎市立上坂部小学校2年生 100名
認定こども園七松幼稚園 34名

(7) ピッコロ実技教室

伝統芸能や演劇等の体験的学習、解説をまじえた実技教室を開催し、舞台芸術への関心を高め将来の鑑賞者の育成を図った。

区分	事業名	期 日	出演者(指導者)等	参加者
伝統芸能	ちやっと！狂言～入門編～	5. 8. 19 ～20	大蔵流狂言方 善竹隆司	25
演劇	まわしよみ新聞&演劇ワークショップ〈壁新聞を演じてみよう〉	5. 8. 9	陸奥 賢(まわしよみ新聞考案者、エミズ・デザイン) 本田千恵子、三坂賢二郎、有川理沙(ピッコロ劇団員)	17
	演劇ワークショップ「40歳からのワンコイン演劇講座」	5. 8. 6	大手前大准教授 瀬口昌生 (元ピッコロ劇団員)	23
オペラ	オペラの普及をめざして 関西二期会オペラ研修所との連携企画			
	「ピッコロオペラ教室」 オペラの楽しみ方	5. 8. 25	関西二期会副理事長 小餅谷哲男	75
	関西二期会オペラ研修所修了公演 演目「秘密の結婚」	5. 8. 26	関西二期会オペラ研修所 第59期生 ほか	147

4 地域の関係機関との連携

(1) 尼崎市ティーンズサポート事業への参加

尼崎市が市内外の10代の青少年の舞台鑑賞を支援するため、低廉な入場料(500円)で鑑賞機会を提供する「ティーンズサポート事業」に協力(14名鑑賞)

(2) 日興油脂の劇場招待事業

日興油脂株式会社(尼崎市)の支援を得て、こども食堂を利用している地元尼崎市内の子どもたちをピッコロ劇団ファミリー劇場へ招待(72名観劇)

(3) 兵庫県阪神南県民センターの劇場招待事業など

「青少年文化スポーツ体験事業」による招待

ピッコロ劇団ファミリー劇場(12月)に親子ペアを招待(50組100名観劇)

(4) やってみようプロジェクト(文化庁・日本劇団協議会事業)等の協力参加

地域団体(市/地域国際交流協会)が実施する地域在住の外国人等を対象としたやさしい日本語を使ったコミュニケーションワークショップ「ワークショップ にほんごであそぼう！」(ピッコロ劇団員がファシリテーター)を開催。

※ 小野市国際交流協会・小野市うるおい交流館エクラとの連携で開催

(3回:計135名参加(うち外国人87名))

※ 加東市・加東市国際交流協会との連携で開催

(2回:計46名参加(うち外国人39名))

※ 三木市国際交流協会との連携で開催

(1回:24名参加(うち外国人11名))

・エデュケーションワークショップ「D I Eコース in 関西」をピッコロシアターが共催し、ピッコロ劇団員がアシスタント講師として参加(7名参加)

5 動画配信

令和2年度から始めた動画配信を継続するとともに、令和5年度には新たに以下の7動画を配信した。

区 分	内 容
「バックネット委員会」<PV>	「バックネット委員会」プロモーションビデオ
ピッコロ劇団公演第77回公演「スターマン」<PV>	「スターマン」プロモーションビデオ
ピッコロ劇団公演第77回公演「スターマン」アフタートーク 土田英生(劇作家・演出家・俳優/MOMO代表)&岩松了	「スターマン」10月3日(火)19時及び4日(水)19時の公演来場者限定動画
兵庫県立ピッコロ劇団 ファミリー劇場 「森のなかの海賊船 ～こそあどの森の物語～」<PV>	ファミリー劇場プロモーションビデオ
おでかけステージ「タラレバ幽霊とタカラの山」<PV>	おでかけステージプロモーションビデオ
鑑賞サポート(音声ガイド) サンプル動画	イメージサンプル動画
ピッコロシアター文化セミナーラボ〈5〉 「舞台手話通訳ってなんだろう？」	文化セミナーアーカイブ配信

6 施設の管理運営事業

(1) 劇場施設の利用状況

「県立尼崎青少年創造劇場(ピッコシアター)」の指定管理者として、鑑賞劇場等の自主事業を実施するとともに施設の適切な管理と運営を行う。また、演劇、音楽、舞踊等の舞台芸術を創造しようとする県民にホールや練習室等を広く提供している。

【所在地】 尼崎市南塚口町3丁目17番8号

【施設】 大ホール(客席数396席)／中ホール(収容200人)／小ホール(収容100人)
楽屋(6室)／練習室(3室)／資料室(閲覧室・書庫)／舞台美術工房等

【ホール等利用実績(5年度)】

利用者数 98,616人(前年度同期 78,849人)

利用率 92.7%(前年度同期 89.5%)

【利用状況】

区 分	利用者数(人)		利用率(%)	
	4年度	5年度	4年度	5年度
大ホール	36,906	46,391	89.5	93.8
中ホール	14,699	13,541	89.0	90.2
小ホール	14,646	16,844	92.6	93.2
練習室	9,242	12,065	88.6	93.1
閲覧室等(R3.1～)	1,099	8,810	—	—
書庫(R3.1～)	257	965	—	—
計	76,849	98,616	89.5	92.7

(注) 展示室及び資料室は令和元～2年度の大規模改修工事により閲覧室及び書庫にリニューアル。閲覧室及び書庫は令和3年1月より供用開始。

【利用料収入】

区 分		利用料収入(円、税込)	
		4年度	5年度
ホ ー ル 等	大ホール	6,360,160	6,857,800
	中ホール	1,645,555	1,757,800
	小ホール	2,548,500	2,372,500
	楽屋	805,120	857,800
	練習室	1,875,500	2,172,300
	ホール等計	13,234,835	14,018,200
附属設備		6,243,800	6,217,650
合 計		19,478,635	20,235,850

(参考) 近年実施した主な施設改修

《R5年度》

- ・旧喫茶室改修
- ・防犯カメラ及びAP追加
- ・事務室LED化
- ・敷地内高木剪定
- ・中ホールロビー空調修理
- ・大ホール音響室空調修理

《H29～R4 年度》

- ・大ホール客席誘導灯修繕工事 (R4)
- ・大ホールワイヤレスマイク設備更新 (R4)
- ・中ホールスピーカー更新工事 (R4)
- ・中小ホール搬入口重量シャッターの修理 (R4)
- ・外部2階エントランス等防水工事 (R4)
- ・ホール天井照明のLED化 (R4)
- ・動画配信のためのWi-Fi整備 (各ホール・楽屋・練習室・閲覧室及び別館稽古場) (R3)
- ・ホールのロスナイ (換気システム) の改修 (R3)
- ・別館稽古場への換気設備改修 (R2)
- ・大ホールホワイエに障害者等対応エレベーターを設置 (R2)
- ・展示室を劇場利用者同士の交流が図れる閲覧スペース等に改装、書庫を整備 (R1-2)
- ・ホール天井照明のLED化、練習室の防音換気機能向上 (R1-2)
- ・小道具等が製作できる舞台美術工房を大ホールB1階に整備 (R1)
- ・トイレの完全洋式化、おむつ交換台、授乳室の設置 (H29-R1)

(2) 情報の提供・発信

① 演劇等舞台芸術関係資料の提供

青少年などの幅広い創造活動を支援するため、令和元年度に整備したピッコロシアター資料室 (閲覧室・書庫) において、演劇・音楽・舞踊などの舞台芸術専門書等の閲覧・貸出を行うとともに、照会にも対応している。

【資料室 (閲覧室・書庫) について】

- ・開室時間：10:00～18:00 (資料の閲覧請求・貸出受付時間：13:00～17:00)
- ・1人3冊、2週間まで貸出
- ・蔵書検索システム (スマホ対応)・閲覧室内の検索システム端末などで資料を検索
《蔵書検索へのアクセス》<https://piccolo-library.opac.jp>
- ・閲覧室で自由に閲覧可能
- ・閲覧室には、高校演劇などの台本を設置 (開架式)

	4年度	5年度
閲覧状況	299名	327名
貸出状況	151冊	164冊

② ピッコロ・ホームページの運営

主催事業や劇団公演等をタイムリーに発信した。

【アクセス数】

4年度	5年度
104,999件	65,584件

※令和5年8～9月の間は、システムの切替に伴いアクセス数を計上できなかったため、件数が減少している。

③ SNSの活用

劇場や演劇学校の日々の動きや公演に向けた劇団員の稽古風景等を発信した。

- ・X (旧ツイッター) フォロワー数 1,432人 (R6.3.31時点)
- ・フェイスブック フォロワー数 917人 (R6.3.31時点)

④ 貸館予約システムの導入

ホールや練習室の空き情報を常時ウェブサイト上で公開するとともに、練習室については、利用者登録をした後にウェブサイト上で仮押さえができるようになり、利便性の向上を図った。

⑤ 定期刊行物の発行・配付

月間催し物案内（毎月）やピッコロ劇団後援会機関紙「into」（年4回、各2,000～3,000部程度）を発行し、来館者、近隣の公共施設や文化施設等に配付した。

⑥ 芸術文化情報コーナー

館内の2箇所に芸術文化情報コーナーを設置し、県内外施設の芸術文化関連のイベント、チラシや情報誌を配架することで来館者に情報提供した。

⑦ 広報媒体を通じた発信

- 定期的なプレスリリース送付に加え、公演形態・稽古スケジュール等に応じた記者会見や稽古取材、個別インタビュー、新聞社訪問、劇団員等の在阪メディアへの出演を適宜実施した。
- 地元FM局にピッコロシアター・ピッコロ劇団コーナーを運営。
FM尼崎「ピッコロ通信」毎月第1・3土曜
「こちら、阪神南県民センターです」（約2カ月に1回、劇場の事業紹介）
FM宝塚「ピッコロ劇団公演情報」毎月第2月曜

〔劇団公演等にかかる記者会見、主な個別取材の状況など〕

劇団公演関係	掲載日・放映日・メディアなど
「バックネット委員会」	4/13 FM伊丹
「やわらかい服を着て」	5/25 ラジオ関西 6/3 ステージナタリー 6/30 関西えんげきサイト 7/7 読売新聞 7/13 産経新聞、毎日新聞 7月号 エンタメ紙「MEG」 7/20 朝日新聞 7/21 神戸新聞 10月 テアトロ 10月号（劇評）
「スターマン」	8月号 エンタメ紙「MEG」 9/13 ステージナタリー 10/1 ステージナタリー 9/20 神戸新聞 9/21 産経新聞 9/22 読売新聞 9/27 毎日新聞 12月 テアトロ 12月号（劇評）
「森のなかの海賊船～こそあどの森の物語～」	6/18 毎日新聞 12/15 神戸新聞
「ロボットーRURー」	1/23 朝日新聞 2/4 毎日新聞 2/9 日経新聞 2/14 神戸新聞 2/13 2/23 ステージナタリー

劇場事業関係	掲載日・放映日・メディア
舞台技術学校	6/19 毎日新聞
演劇学校・舞台技術学	10/8 サンテレビ
青年団プロデュース公演「馬留徳三郎の一日」	11/28 毎日新聞 12/6 神戸新聞

劇団員インタビュー、ピッコロ劇団に係る論評など ※（ ）：劇団員等関係者	掲載日・放映日・メディア
関西現代演劇俳優賞大賞受賞について (樫村千晶劇団員)	4/15 神戸新聞
鑑賞支援のあり方とは (本田千恵子劇団員、菅原ゆうき劇団員)	6/22 点字毎日
外国人や介護者向けワークショップ (田窪劇団部長)	6/30 日経新聞
災害弱者の避難 演劇で備え	9/1 神戸新聞
遠くの存在に想いをはせて (古川広報交流専門員)	11/12 神戸新聞
NEWSおかえり「阪神・淡路大震災特集」 (孫高宏劇団員)	1/16 朝日放送
「阪神・淡路」避難所公演が原点 ピッコロ劇団創立 30 周年 (平井久美子劇団員、吉村祐樹劇団員)	1/25 神戸新聞
観劇サポート広がる輪 俳優の表情 音声で解説／せりふを字幕表示 (木下鮎美劇団員)	1/29 神戸新聞

7 その他、施設利用者の利便向上への取組（収益事業）

- ・喫茶スペースの貸出（～R5.6）
- ・飲料自動販売機 1 台の設置（R6.4～）

〔本部の事業（概要）〕

芸術文化の普及・啓発

1 主催事業

（１）芸術文化活動の表彰事業

県の芸術文化の高揚を図るため、将来の活躍が期待される音楽家を対象とする「坂井時忠音楽賞」、功績のあった女性洋画家を対象とする「亀高文子記念―赤艸社賞」、地域の伝統文化の継承等に貢献した個人・団体を対象とする「ふるさと文化賞」などの表彰事業を実施した。

（２）コンクール、展示事業

県民の創作活動を後押し、世代や分野を超えた人々の交流の場づくりを進めるため、広く県民を対象とした「兵庫ふれあい美術展」等の公募展を開催した。新進美術家等に発表機会を提供するとともに、県民が気軽に良質の美術作品を鑑賞できる場として、県民アートギャラリー等において「作品展」を開催した。

（３）主催公演事業

子どもから大人まで優れた舞台芸術を身近で鑑賞でき、県内芸術団体等への活動機会を提供するため、小学校・高校や公立文化施設において「県民芸術劇場」を実施した（73 公演）。また、新進音楽家等に発表機会を提供するとともに、県民が気軽に良質の舞台芸術を鑑賞できる場として、県民会館のほか県内文化施設等においてロビーコンサート、リサイタル等を開催した。

（４）講座・体験等事業

県民の高い学習意欲に応えるため、県立美術館、博物館、芸術文化団体等と連携・協力し、「兵庫県生活文化大学」を開催し、歴史、美術、音楽等の多彩な分野の講座を提供した（通年講座：8 講座、短期講座：5 講座）。伝統文化の普及・継承を図るため、子どもから大人まで幅広い層の県民が伝統文化を体験できる「伝統文化ふれあい広場」「伝統文化体験教室」を実施した。

2 芸術文化団体等との連携事業

地域文化の向上・振興を図るため、7つの地域文化団体で構成される兵庫県地域文化団体協議会と連携し、各地域の特色を活かした事業の推進を支援した。各種イベント等を通じて県下に芸術文化のすそ野を広げるため、様々なジャンルの県域芸術文化団体や地域文化団体、市町等と連携・協力し、「ふれあい文化の祭典―県民文化普及事業」を展開した（23 事業）。

県民の舞台芸術鑑賞機会を拡大するため、大型共同企画を支援する「市町ホール活用支援事業」、児童・生徒・学生が無料で鑑賞できるよう公演経費を支援する「舞台芸術鑑賞機会創出事業」を実施した。

3 ひょうごアーティストサロンによる県内アーティストへの支援事業

「ひょうごアーティストサロン」を県民会館に置き、芸術文化関係者の交流・連携、相談や情報発信等の機能を担わせた。新進・若手アーティストを対象とした美術作品展、ロビーコンサート、リサイタルの開催、アーティストサロン賞の贈呈などを行った。

4 情報の提供

県民の芸術文化への関心を高め参加を促すため、協会や関係文化施設、芸術文化団体等の情報を掲載した情報紙「すずかけ」の毎月発行、ホームページやSNSを活用して県内アーティスト・団体の活動等の動画配信やイベント情報の発信などを行った。

〔本部の事業（評価）〕

1 主催事業

(1) 「坂井時忠音楽賞」、「亀高文子記念一赤艸社賞」は、音楽や美術関係者からの評価は高く、アーティストが目指す賞として定着しており、受賞者にとって今後の大きな励みとなっている。「ふるさと文化賞」では、地域の文化を守り育ててきた方々を顕彰し広く情報発信するとともに、活動に取り組む意欲を高めている。

(2) 「第 29 回兵庫ふれあい美術展」を公募により開催し、美術創作に親しむ県民に作品展示の機会を提供するとともに、分野や世代を超えた人々の美術を通じた交流の場とした（絵画、工芸、書など7分野。出品数 333 点、出品者年齢 15 歳～94 歳）。

県民会館において、年間を通じて「新進美術家作品展」等を開催し、作家にとって貴重な発表の場となるとともに、県民が気軽に美術鑑賞できる場としても定着している。

(3) 「県民芸術劇場」は、新型コロナによる制約の緩和、令和4年度に減額となった県予算の回復により、公演数は増加した（令和4年度:57→令和5年度:73）。県の事業改善レビュー意見を踏まえ実施した Web アンケートでは鑑賞した児童・生徒の約 95%から「良かった」との回答があった。

県民会館ほか県内文化施設等で、若手音楽家等によるコンサート、リサイタルを開催（計 27 公演）し、減少した活動機会の拡大とともに、県民が気軽に舞台芸術に触れる機会をつくることができた。

(4) 「兵庫県生活文化大学」については、計画した通年8講座を開催することができ、新型コロナウイルス感染症の影響で減少した受講者数も回復してきている（通年受講申込者令和4年度:341 人→令和5年度:381 人）。講師には、第一線で活躍する研究者・実務者を依頼しており、「最新の研究成果が学べる。分かりやすく楽しい。」など好評を得ている。

「伝統文化ふれあい広場」は、体験ブースの増設（令和4年度:8→令和5年度:20）、SNS 広告などを行った結果、参加者は増加し（令和4年度:498 人→令和5年度:1,192 人）、親子連れや外国人を含む多くの来場者に伝統文化の魅力を伝えることができた。「日本の伝統文化に触れ興味が沸いた。初めて三味線が弾けてうれしかった。」などの感想が寄せられた。

2 芸術文化団体等との連携事業

「ふれあい文化の祭典ー県民文化普及事業」は、県域又は地域の芸術文化団体、市町等の連携により県内各地で開催し、文化愛好者の成果発表や交流の場づくりに寄与した。参加者数もほぼコロナ禍前の水準に戻ってきており（平成 30 年度:41,900 人→令和4年度:22,208 人→令和5年度:31,511 人）、今後も継続して開催支援に努める。

「舞台芸術鑑賞機会創出事業」では、鑑賞者の約2割にあたる人数の青少年を無料招待し、若者の鑑賞機会の拡大とともに県内アーティストの活動機会の創出に貢献した。公演主催者からは「青少年の反応が新鮮で励みになった。若い世代に伝統芸能の魅力を伝えることができ意義深かった。」などの感想が寄せられた。

3 ひょうごアーティストサロンによる県内アーティストへの支援事業

芸術文化コーディネーターを中心にネットワークをつくり、多様な分野の芸術文化関係者が交流・連携ができる場として機能している。発表の場としての展覧会・リサイタル等の企画・実施、ひょうごアーティストサロン賞の贈呈等は、新進・若手アーティストの育成や活動意欲の向上につながっている。県民会館ではロビーコンサート（無料）を毎月開催し、小さな子どもを連れた方などからも気兼ねなく鑑賞できると喜ばれている。

4 情報の提供

情報紙「すずかけ」は、カラー化して配架するに当たり手に取ってもらいやすくしたことに加え、紙面を印象的で読みやすくリニューアルした。引き続き、チラシ等の印刷媒体、ホームページやSNSなど多様な方法を用いて、より多くの県民に芸術文化に関する情報が届くよう情報発信力の向上に努めていく。

〔本部の事業（詳細）〕

1 主催事業

（１）芸術文化活動の表彰事業

① 第４２回ふるさと文化賞

地域社会において、永年にわたりひたむきな努力を続け、伝統文化の継承に貢献するなど、その活動と功績が著しい２個人２団体に贈呈した。

【贈呈式】 令和６年１月２４日

【会 場】 兵庫県民会館

【受賞者】 伊藤 太一（彫画・明石市）
見並 なおこ（赤穂段通・上郡町）
久谷ざんざか踊り保存会（伝統民俗芸能・新温泉町）
淡路素義審査会（淡路人形浄瑠璃・南あわじ市）

② 亀高文子記念^{せきそうしや}赤艸社賞

絵画の創作活動を通じて県民文化の高揚に功績があった女流洋画家に贈呈した。

【贈呈式】 令和６年２月１５日

【会 場】 兵庫県民会館

【受賞者】 杉山 知子（神戸市）

③ 坂井時忠音楽賞

県内において音楽活動に優れた業績をあげ、将来の活躍が期待される音楽家を奨励するため贈呈した。

【贈呈式】 令和６年２月１５日

【会 場】 兵庫県民会館

【受賞者】 中谷 彩花（ピアノ・神戸市）

④ ひょうごアーティストサロン賞（アーティストサロン事業）

ひょうごアーティストサロンの事業に積極的に参加し、将来一層の活躍が期待される新進・若手アーティストに贈呈した。

【贈呈式】 令和６年３月７日

【会 場】 兵庫県民会館

【受賞者】 〈アーティスト部門〉 細谷 公三香（チェロ・宝塚市）
関 保道（写真・神戸市）
〈協力者部門〉 該当なし

（２）コンクール、展示事業

① 第３５回全国手工芸コンクール in ひょうご

ふだんの生活から創りだされた、ぬくもりのある手工芸作品を全国から公募し、優秀な作品に文部科学大臣賞、知事賞等を贈呈した。女性に限るとしていた出品資格を廃止して実施した。

【会 期】 令和５年１１月２４日～２６日

【会 場】 兵庫県民アートギャラリー

【出品数】 ２２３点

【入場者】 ８２２人

② 第２９回兵庫ふれあい美術展

県内の美術愛好家から日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・鈴懸の径絵画（洋画または日本画の小品。テーマあり）作品を公募し、全ての応募作品を展示するとともに、優秀な作品に知事賞等を贈呈した。

【会 期】 令和５年１２月２２日～２４日

【会 場】 原田の森ギャラリー
 【出品数】 333点
 【入場者】 1,113人

③ 第60回2023県展

県内に生活し、日頃から美術作品の制作活動に励んでいる方を対象に、絵画、彫刻・立体、工芸、書、写真、デザインを公募し、入選作品の展示を行い、優秀な作品には県展大賞等を贈呈した。

【会 期】 令和5年8月5日～19日
 【会 場】 原田の森ギャラリー
 【応募数】 598点（入選作品200点）
 【入場者】 2,751人
 【共 催】 兵庫県・兵庫県立美術館・神戸新聞社

④ 新進美術家作品展（アーティストサロン事業）

県内各美術団体の協力を得て、新進作家を中心とした作品展を開催した。

・ひょうごアーティストサロン内

事 業 名	開催年月日	出展人数 (人)	入場者 (人)
兵庫二紀会選抜展	5. 4. 1～5. 30	2	323
兵庫県写真作家協会新進作家選抜展	5. 6. 1～7. 31	14	386
兵庫県美術家同盟新進作家選抜展	5. 8. 1～9. 30	9	445
兵庫の工芸 壁面を飾る	5. 10. 2～11. 30	4	356
兵庫県書作家協会選抜展	5. 12. 1～6. 1. 30	6	464
兵庫県日本画家連盟選抜展	6. 2. 1～3. 30	8	470
合 計	243日	43	2,444

・兵庫県民アートギャラリー特別展示室

事 業 名	開催年月日	出展人数 (人)	入場者 (人)
兵庫県工芸美術作家協会選抜展	5. 10. 18～22	8	317
WSM展 ダブルサムホールの日本画展	6. 2. 7～11	46	590
合 計	10日	54	907

・兵庫県民アートギャラリー大展示室

事 業 名	開催年月日	出展人数 (人)	入場者 (人)
兵庫県美術作家交流展	5. 12. 6～10	20	581

(3) 主催公演事業

① 県民芸術劇場

小学生・高校生、一般県民が優れた舞台芸術を身近に鑑賞し、県内芸術団体等が活動する機会として県民芸術劇場を開催した。

また、新規登録団体の公募、登録団体へのPR動画作成助成や学校公演を鑑賞した児童・生徒へのアンケート実施等を通じて、事業の更なる普及に努めた。

種 別 公演ジャンル	5年度		協会支出額（千円）	
	公 演 数	入 場 者 数	5 年 度	4 年 度
一般公演	13	4, 152	7,976	4,133
演 劇	2	502		
伝統芸能	1	262		
音 楽	10	3, 388		
高等学校公演	20	13, 586	9,044	4,579
ミュージカル	1	787		
演 劇	9	5, 464		
伝統芸能	4	3, 429		
音 楽	6	3, 906		
小学校公演	40	16, 831	8,200	8,375
演 劇	6	1, 759		
伝統芸能	3	973		
音 楽	31	14, 099		
合 計	73	34, 569	25, 220	17, 087

(注) 中学校公演は、全ての県内中学生を対象に「わくわくオーケストラ教室」等を実施していることから、県民芸術劇場の対象外としている。

② 県民会館ロビーコンサート（アーティストサロン事業）

兵庫県民会館のロビーを活用した新進・若手アーティスト等のコンサートを開催し、活動発表の場を提供した。

公 演 名	開催年月日	入場者（人）
宮本真祐子ピアノコンサート	5. 4. 8	98
奥川幸一バリトンコンサート	5. 5. 13	74
矢野百華ピアノコンサート	5. 6. 10	106
東口雪菜ピアノコンサート	5. 7. 8	81
首藤主来ヴァイオリンコンサート	5. 8. 19	80
県立西宮高等学校音楽科40期生によるアンサンブルコンサート	5. 9. 9	83
吉見真帆ソプラノコンサート	5. 10. 14	76
西林彩菜オーボエコンサート	5. 11. 11	97
片山響ピアノコンサート	5. 12. 9	71
河合珠江ピアノコンサート	6. 1. 13	87
田平莉子フルートコンサート	6. 2. 10	76
神戸山手女子高等学校音楽科センブリーチェ・コンサート	6. 3. 9	81
合 計	12公演	1, 010

③ 県内芸術家ロビーコンサート（アーティストサロン事業）

県内の新進・若手アーティストの活動の場の拡大を目指し、会場を県民会館から県内の芸術文化施設等に応じて実施した。

公演名・会場名	開催年月日	出演者	入場者（人）
こうこはくロビーコンサート 夏空とそよ風のしらべ 【県立考古博物館】	5. 7. 15	坂茉莉江（ヴァイオリン） 河野佐千栄（ピアノ）	100
アクリエひめじ楽市楽座～ 姫路城下の歴史と文化～ 新福かな～箏のしらべ～	5. 9. 9	新福かな（箏）	120
大屋市民センター ロビーコンサート	5. 9. 24	田中利奈（フルート） 中嶋 緑（ピアノ）	68
小原彩乃（ハープ）ミニコンサート【世良美術館】	5. 10. 28	小原彩乃（ハープ）	57
上原かなえ&榎屋里穂 フルートとピアノのコンサート 【西宮市山口ホール】	5. 11. 1	上原かなえ（フルート） 榎屋里穂（ピアノ）	63
内藤雪子ピアノコンサート 【藤野美術館】	5. 11. 19	内藤雪子（ピアノ）	25
新春ロビーコンサート 【明石市立文化博物館】	6. 1. 6	西川かをり（箏） 國見政之輔（尺八）	75
土井美佳ヴァイオリンリサイタル【西脇市茜が丘複合施設みらいえ】	6. 1. 7	土井美佳（ヴァイオリン） 内藤雪子（ピアノ）	130
合 計 8 公演			638

④ 新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ（アーティストサロン事業）

兵庫県民会館けんみんホールを利用し、「新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ」を開催した。

あわせて兵庫県いけばな協会の協力により舞台にいけばなを添えて鑑賞者に対して芸術文化に親しむ環境の充実に努めた。

事業実施にあたっては、出演者にリサイタルの企画から実施までのマネジメントを自ら経験させ、今後演奏家としての実務に役立てられるよう支援を行った。

公演名	開催年月日	いけばな	入場者（人）
江戸聖一郎フルートリサイタル	5. 5. 26	矢野翠里（真生流）	97
小原彩乃ハープリサイタル	5. 6. 16	西村翠雲（佳生流）	96
泉麻衣子ピアノリサイタル	5. 7. 6	内藤貴風（光風流）	115
河本祥太郎チェンバロリサイタル	5. 9. 15	佐伯一甫（未生流 庵家）	146
大倉卓也ピアノリサイタル	5. 11. 10	富士聡子（華精流）	118
鳥居大輔ピアノリサイタル	5. 12. 1	河野順甫（未生流中 山文甫会）	136
寺本純子クラリネットリサイタル	6. 1. 19	成瀬香泉（知香流）	75
合 計 7 公演			783

(4) 講座・体験等事業

① 兵庫県生活文化大学

日々の暮らしに夢と潤いのある生活文化を創り育てるため、県立美術館、歴史博物館、考古博物館等に講師を依頼するなど、県や芸術文化団体と連携しながら最新の研究成果が学べる講座として、兵庫県生活文化大学を開催した。

【通年講座】

講 座 名		開催地	会 場	期間(回数)	通年受講 申 込 者 (実人)	年間受講者 (人)
神戸校	文化財 (県立美術館「芸術の館友の会」)	神戸市 ほか	兵庫県民会館 ほか	4～2月(10)	39	394
	考古学 (県立考古博物館)			4～2月(10)	44	457
	西洋美術 (県立美術館「芸術の館友の会」)			4～2月(10)	52	523
	日本美術 (県立美術館「芸術の館友の会」)			4～2月(10)	50	470
	ふるさとの歴史 (ひょうご歴史研究室)			4～2月(10)	52	504
	音楽鑑賞 (兵庫県音楽活動推進会議)			5～3月(10)	56	696
明石校	ふるさとの歴史 (県立歴史博物館)	明石市	明石市生涯学習センター	4～2月(10)	47	471
姫路校	ふるさとの歴史 (県立歴史博物館)	姫路市	兵庫県立歴史博物館ほか	4～2月(10)	41	429
合 計		8 講座		80回	381	3,944

※講座名欄の()は共催団体等

【短期講座】

【金沢美術生】

講 座 名	開催地	会 場	期間(回数)	受講者 (人)
展覧会特別鑑賞講座 「出会いと、旅と、人生と。 ある画家の肖像 日本近代洋 画の巨匠 金山平三と同時代 の画家たち」	神戸市	兵庫県立美術館「芸術 の館」	6月(1)	20
伝統芸能講座 能楽の世界「船弁慶」	西宮市	夙川能舞台「瓦照苑」 兵庫県立芸術文化セン ター	9月(2)	42
湊川隧道特別見学会	神戸市	湊川隧道	10月(1)	46
展覧会特別鑑賞講座 「生誕 120 年 安井仲治―僕 の大切な写真」	神戸市	兵庫県立美術館「芸術 の館」	12月(1)	17
展覧会特別鑑賞講座 「スーラージュと森田子龍」	神戸市	兵庫県立美術館「芸術 の館」	3月(1)	18
合 計			5 講座	6回
				143

② 風土と文化の歴史学

田辺真人園田学園女子大学名誉教授を講師に迎えて開催。講座名称を「地域と文化の兵庫学」からリニューアルし、われわれを取り巻く自然環境「風土」と、それが生み出した「文化」について、「川」をテーマとして考察した。

【開催日】 令和5年8月3日、9月14日、10月5日(3回)

【会 場】 兵庫県民会館 けんみんホール
 【講 師】 田辺 真人氏（園田学園女子大学名誉教授）
 【受講者数】 652人

③ 伝統文化ふれあい広場

伝統文化の新たな担い手を発掘するため、県域文化団体等の協力を得て、幅広い層の県民が様々な伝統文化を一堂に体験する機会を提供した。

【開催日】 令和6年3月9日～10日
 【会 場】 兵庫県公館
 【内 容】 体験講座、舞台での実演、展示
 【参加者数】 1,192人

④ 伝統文化体験教室

関係文化団体等との共催で、体験教室を開催することにより、県民が伝統文化に触れる機会を提供した。

【時 期】 令和5年5月～9月
 【回 数】 4回
 【会 場】 兵庫県民会館・兵庫県公館和風会議室
 【参加団体】 兵庫県いけばな協会ほか5団体

教 室（回数）	共 催 団 体	参加者(人)
お箏のススメ（1）	兵庫県箏絃連盟	10
能楽のススメ（1）	公益社団法人能楽協会神戸支部	14
日舞のススメ（1）	兵庫県舞踊文化協会	12
須磨琴のススメ（1）	一絃須磨琴保存会	12
合 計	4分野（4回）	48

⑤ 友の会会員事業の推進

芸術文化に関する学習や交流事業を通じて、生きがいつくりと相互の交流を図るため、友の会会員を対象とした事業を推進した。

	個人会員	ファミリー会員	団体会員
友の会会費	1口 3,000円	1口 5,000円	1口 10,000円
会 員 数	590人	80人（40組）	46団体

【特 典】・文化情報紙「すずかけ」の送付（毎月）

- ・研修事業への参加・生活文化大学等の受講料等の割引
- ・指定美術館・博物館等の入館料割引
- ・提携ホールのチケット料金やホテルの利用料金等の優待

（ア）研修事業の実施

県内の人文・自然資源、文化史跡等を訪ね、先人が育んできた歴史・芸術文化にふれ、そのすばらしさを学んだ。

【ふるさとウォーク】

事 業 名	開催年月日	場 所	参加者(人)
谷口義子先生と歩く 旧枝川筋から甲子園開発をたどる	5. 11. 16	西宮市	17
合 計	1事業（1回）		17

（イ）文化情報紙「すずかけ」の送付

友の会会員に対して毎月、文化情報紙「すずかけ」を送付し、情報を提供した。

2 芸術文化団体等との連携事業

(1) 兵庫県地域文化団体協議会への支援

地域文化の向上と振興に貢献することを目的とする兵庫県地域文化団体協議会の事務局を担当し、県内7地域で活動する地域文化団体との連携を深めた。

【兵庫県地域文化団体協議会構成団体】

- ・阪神南文化振興団体連絡協議会
- ・阪神北文化振興団体連絡協議会
- ・東播磨文化団体連合会
- ・西播磨文化協会連絡協議会
- ・但馬文化協会
- ・丹波文化団体協議会
- ・淡路文化団体連絡協議会
- ・公益財団法人兵庫県芸術文化協会

① 地域文化団体との共同事業 *

兵庫県地域文化団体協議会が、各地域において地域の核となる文化団体協議会等と共同で文化事業を実施した。

文化団体名	事業名	開催年月日等
阪神南文化振興団体連絡協議会	あまがさき芸術文化体験講座	5. 10. 28 (会場：尼崎市総合文化センター アルカニックホール・ミニ)
阪神北文化振興団体連絡協議会	阪神北地域活動団体出演・出展 支援事業	5. 11. 12 (会場：宝塚市立西公民館)
東播磨文化団体連合会	文芸誌「東はりま文化子午線第 47号」の発行	6年3月発行
西播磨文化協会連絡協議会	西播磨地域ふれあい文化交流会	5. 10. 18 (会場：太子町立文化会館あすか ホール)
但馬文化協会	「一短詩型文学ーたじま作品集 第48集」の発行	6年3月発行
丹波文化団体協議会	令和5年度丹波地域文化フェス ティバル	5. 8. 6 (会場：丹波の森公苑)
淡路文化団体連絡協議会	淡路文化の祭りとふるさと文化 の交流 第42回全淡短歌祭 第47回淡路島俳句大会 第45回淡路文学作品展	5. 9. 30 5. 11. 12 5. 11. 29～12. 7 (会場：洲本市立淡路文化史料館ほ か)

② 地域文化を考えるシンポジウム

地域文化の活性化を図るため、淡路地域に県内市町文化協会・団体の会員が一堂に会し、地域における文化振興の現状や課題、地域の特色を生かした事業の推進方策等について情報交換や協議を行った。

【開催日】 令和5年11月16日

【会場】 赤穂市文化会館 赤穂化成ハーモニーホール

【主催】 西播磨文化協会連絡協議会、兵庫県地域文化団体協議会、公益財団法人兵庫県芸術文化協会

【テーマ】 地域文化の再発見と新たな創造

【内 容】 第1部は映像と語りで西播磨地域の伝統文化を紹介。第2部は伝統文化の継承と地域文化をテーマに、即答フリップ方式のパネルディスカッションを実施。第3部は地域のコーラス団体と播州段文音頭保存会が実演を披露

【参加者】 県内各地文化関係者280人

(2) ふれあい文化の祭典－県民文化普及事業 *

県内全域に文化のすそ野を拡大していくため、県域又は地域の芸術文化団体、開催市町とともに実行委員会を立ち上げ、広報宣伝・観客誘致等を行った。

事業名	開催年月日	会場	参加者(人)
丹波地域文化フェスティバル	5. 8. 6	丹波市	336
西播磨文化フェスティバル 第43回西播磨ふるさと写真展	5. 9. 2～8	たつの市	465
ひょうご邦楽の祭典	5. 9. 3	西宮市	387
兵庫県いけばな展(地域展)	5. 9. 9～10	姫路市	6, 306
アンサンブル・フェスティバル兵庫	5. 9. 10	西宮市	385
ひょうごブラスフェスティバル	5. 9. 17	川西市	1, 580
ひょうご日本民謡フェスティバル	5. 9. 17	神戸市	652
兵庫県交響楽祭	5. 9. 18	西宮市	840
ひょうご名流舞踊の会	5. 10. 1	神戸市	883
詩のフェスタひょうご	5. 10. 1	神戸市	104
ひょうご吟剣詩舞道祭	5. 10. 15	西宮市	600
ひょうご大茶会	5. 10. 29	神戸市	523
音楽とダンスの祭典 in Hyogo	5. 11. 5	神戸市	834
ひょうご洋舞フェスティバル	5. 11. 5	西宮市	1, 626
兵庫短歌祭	5. 11. 11	神戸市	366
兵庫県いけばな協会展	5. 11. 16～21	神戸市	10, 886
全国手工芸コンクール in ひょうご	5. 11. 24～26	神戸市	1, 055
和太鼓フェスティバル in 兵庫	5. 11. 26	小野市	594
西播磨文化フェスティバル ふるさとの心をうたう西播磨音楽祭	5. 12. 3	姫路市	323
兵庫ふれあい美術展	5. 12. 22～24	神戸市	1, 462
ひょうご演劇祭	6. 2. 4	豊岡市	270
ひょうご民俗芸能祭	6. 2. 25	太子町	640
東播磨文化フェスティバル	6. 3. 9	加東市	394
合 計			31, 511

(注) *印(2事業)は、「正味財産増減計算書内訳表」において「収益事業等会計」中の「その他の事業(芸術文化団体との連携事業)」に分類する事業

(3) 市町ホール活用支援事業

市町ホールの活性化、県内公立文化施設間の連携強化を図るため、2市町のホールが音楽や演劇等の大型自主公演を共同で企画する事業を支援した。

(単位:千円)

公 演 名	開催年月日	会 場	参加者 (人)	助成額
こどもオペラ「魔法使いの弟子」	5. 9. 9	加古川ウェルネスパーク	196	701
	5. 9. 10	淡路市立しづかホール	180	
桂吉弥 独演会	5. 8. 27	山崎文化会館	296	563
	5. 9. 22	加東市地域交流センター	259	
神戸新開地・喜楽館 福崎／赤穂名人寄席	5. 9. 10	赤穂市文化会館	441	791
	5. 9. 17	福崎町エルデホール	351	
ホールで！ おんべビ !!	5. 11. 28	西脇市立音楽ホール	66	264
	5. 11. 30	西宮市フレンテホール	106	
大阪桐蔭高等学校吹奏楽部 演奏会	5. 12. 9	太子町立文化会館	1, 399	676
	6. 1. 14	市川町立文化センター	1, 072	
合 計			4, 366	2, 995

(4) 舞台芸術鑑賞機会創出事業

新型コロナウイルス感染症により減少した子どもの舞台鑑賞機会や県内アーティストの活動機会を提供するため、県内文化施設等において実施される音楽・演劇等で、一定の座席数を児童・生徒・学生（小、中、高校、大学生等）向けの無料席とする公演の経費を支援した。

【助成件数】 32件

【助成内容】 演劇、マリンバコンサート、県内落語家による名人寄席 等

【助成金額】 13, 603千円（助成率1／2・上限500千円）

【鑑賞者数】 9, 528人

【うち学生等（無料）】 1, 765人

(5) 芸術文化団体等の事業への支援

芸術文化団体等が主催する文化振興事業に対し、後援、協賛するとともに、優秀作品に「兵庫県芸術文化協会賞」を贈った。

【後援事業件数】 231件

【協会賞交付件数】 70件

(6) 兵庫県文化賞受賞者懇話会への支援

兵庫県文化賞受賞者で構成される兵庫県文化賞受賞者の事務局運営等を支援し、芸術文化の振興を図った。

3 ひょうごアーティストサロンによる県内アーティストへの支援事業

(1) 芸術文化関係者の交流・連携の促進

様々な分野の芸術文化関係者がアーティストサロンに集い、出会い、語らいの場として利用され、交流の拠点としてサロン機能を発揮した。

【来場者数】 3, 607人

(2) 相談・助言・斡旋事業の実施

芸術文化情報の収集・発信を通して蓄積した人材情報等に基づき、初心者から若手、中堅を問わず芸術文化活動に関する企画・PR方法等、様々な相談に応じた。

【相談件数】 370件

【さわやかステージ斡旋件数】 8件

(3) 若手アーティストの育成・支援

- ① 新進美術家作品展（再掲）
- ② 県民会館ロビーコンサート（再掲）
- ③ 県内芸術家ロビーコンサート（再掲）
- ④ 新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ（再掲）

4 情報の提供

(1) 文化情報紙「すずかけ」の発行

生活文化大学をはじめとする当協会主催事業や芸術文化団体主催事業など、芸術文化に関する情報を発信した。

【仕 様】 タブロイド版、4ページ、外面4色刷り

【発 行】 毎月1回 各5, 000部

【内 容】 ・生活文化大学やリサイタル等の主催事業、県内の芸術文化事業
・芸術文化センター事業、ピッコロシアター事業
・友の会（おすすすめスポット）たずね歩き
友の会の特典提携をしている文化施設とその周辺施設を紹介
・各種文化情報

(2) 文化情報の提供

兵庫県民会館に、文化情報紙、県内施設等の催し物案内チラシ等を配架し、多彩な文化情報を提供した。

(3) ホームページの運営 (<https://hyogo-arts.or.jp>)

協会概要や本部事業、各施設の公演、展覧会事業等を幅広く紹介した。

【内 容】・協会概要

- ・事業案内（協会主催事業等）
- ・管理施設へのリンク

【アクセス数】 78, 452件（令和5年4月～令和6年3月）

(4) その他多面的な広報活動

① SNSの運営

兵庫県に關係の深い新進・若手アーティスト等の発表の場の創出と鑑賞機会の提供を目的として、YouTube チャンネルにおいて、アーティストの動画作品 118 本及び県民芸術劇場登録団体PR動画 91 本を配信した。X(旧 Twitter)、Facebook、Instagram を活用して、兵庫県生活文化大学等の各種講座や展覧会、コンサート等のイベント情報等を発信した。

・YouTube チャンネル登録者数 3, 520人（R6.3.31時点）

- ・X（旧 Twitter）フォロワー数 5 5 6 人（R6. 3. 31 時点）
- ・Facebook フォロワー数 3 5 0 人（ 〃 ）
- ・Instagram フォロワー数 7 5 1 人（ 〃 ）

② **マスメディア等による情報提供**

- ・テレビ、ラジオ、新聞等への記者発表、資料配付など

③ **県内文化施設等多様なチャンネルを活用した情報提供**

県立美術館、県立歴史博物館、県立考古博物館等事業を共催している施設と連携して P R したほか、県内の文化施設や図書館、各教育機関を通じて情報発信を行った。

〔県立美術館王子分館の管理・運営（概要）〕

1 原田の森ギャラリーの管理・運営

（１）貸しギャラリーの適正な運営

地域のプロ・アマチュア芸術家、芸術文化団体の作品発表の場として、また、県民がさまざまな芸術文化に触れ、交流する場となるよう、ギャラリー運営会議の助言を得ながら、ギャラリーの適正で、効率的な運営に努めた。

【来館者数】 131,909人 【展示室の利用率】 91.5%

（２）ギャラリーの利便性向上

予約システムを新たに導入し、空き情報の確認や利用申込等手続の効率化など利便性の向上を図った。また、安全安心な利用環境を維持するため、玄関前の外構や駐車場の補修、エレベーター部品の交換など必要な修繕を行った。

2 横尾忠則現代美術館の管理・運営

（１）横尾作品を中心とした展覧会

横尾忠則氏の小説の世界を視覚的に表現した「横尾忠則 原郷の森」など3つの展覧会のほか、「横尾忠則コレクションギャラリー」では、同氏所蔵の作品を展示した。

【来館者数】 58,718人 【展覧会の入場者数】 33,689人

① 横尾忠則 原郷の森

（同時開催：YOKOO TADANORI COLLECTION GALLERY 2023 Part 1）

期 間：令和5年5月27日（土）～8月27日（日）（80日）

入場者数：10,346人

② Yokoo in Wonderland —横尾忠則の不思議の国—

期 間：令和5年9月16日（土）～5年12月24日（日）（86日）

入場者数：10,069人

③ 横尾忠則 ワーイ！★Y字路

（同時開催：YOKOO TADANORI COLLECTION GALLERY 2023 Part 2）

期 間：令和6年1月27日（土）～5月6日（月）（86日）

入場者数：6,421人（令和6年3月末時点） ※全期間 11,297人

（２）アーカイブ資料の整理・公開

横尾氏から受け入れているデザイン原稿、書籍等の整理を進め、順次「アーカイブ資料リスト」として公開した。（整理済 5,143点、ウェブ公開リスト 3,993点）

（３）ひょうごプレミアム芸術デーの実施

県民が気軽に芸術文化に触れる機会を提供する「ひょうごプレミアム芸術デー」を実施した。

期 間 7月11日～17日（無料開放7日間、入場者 2,453人）

主な内容 自由に話せる観覧日（7月15日）

灰野敬二 蓮沼執太 サウンドパフォーマンス（7月16日）

（４）美術館の魅力や情報の発信

来館者数の増加に向け各種のイベントの開催のほか、横尾作品の魅力や展覧会情報等を様々なツールを活用して発信した。

〈主な取組〉

- ・ オープンスタジオコンサート（3回、参加者380人）
- ・ キュレーターズ・トークと同動画のYouTube配信（参加・視聴 19,645人・回）
- ・ SNS広告（Facebook, Instagram）による発信（ホームページ誘導 8,059回）
- ・ アート系インスタグラマーと連携した情報発信

〔県立美術館王子分館の管理・運営（評価）〕

1 原田の森ギャラリーの管理・運営

（１）施設の利用状況

令和５年度のギャラリーの利用率、来館者数はともに前年度を上回り、コロナ前の水準までほぼ回復した。また、施設利用料収入は、平成１４年のオープン以来、過去２番目の売上高となった。（来館者数：平成３０年度：１５１千人、令和元年度：１４９千人、令和２年度：５４千人、令和３年度：１０１千人、令和４年度：１３２千人、令和５年度：１３２千人）

（２）利用者からの評価

展示室利用者を対象としたアンケート調査において、「利用の申込方法」と「職員の対応」に関する質問では、全ての回答が「非常に満足」又は「満足」と評価された。利用者からは「広く、明るく、落ち着いた雰囲気」「スタッフの対応が大変良かった」との声が多かった。

2 横尾忠則現代美術館の管理・運営

（１）横尾作品を中心とした展覧会

令和５年度に開催した全ての展覧会で入場者数が１万人を超えた。また、入館者数は、開館１０周年記念展が好調であった前年度に次いで過去３番目となった（開館翌年の平成２５年度：過去最多４９千人、令和４年度：３５千人、令和５年度：３４千人）。

入場者アンケートでは、展覧会について「満足」、「どちらかという満足」の回答が９７．９％、「また来たい」、「どちらかという来たい」が９７．４％となるなど高い評価を得ている。また、来館回数３回以上の固定ファンが半数を占める一方、初めての来館が約３分の１を占めることから、継続的に取り組んできた魅力発信等の成果として当館の新たなファン層の獲得も一定図られている。

（２）アーカイブ資料等の活用

アーカイブ資料は、当館での展示はもとより、外部の美術館関係者や研究者等の依頼に応じて閲覧に供した。

また、当館が貸し出した資料（原画やラフスケッチなど）を活用し、ギンザ・グラフィック・ギャラリーで開催された「横尾忠則 銀座番外地」（令和５年５～６月）は、作品が完成する前段階の「デザイン表現のプロセス展示」として話題となった。

（３）ひょうごプレミアム芸術デーの実施

展覧会の無料開放期間には、通常の約３倍の入場者があり、横尾作品の魅力に触れていただく機会となった。また、灰野敬二氏と蓮沼執太氏によるライブには多くの反響があり、横尾忠則現代美術館の活動を全国へ発信することができた。

（４）美術館の魅力や情報の発信

従来からのポスター等の広報やイベントに加え、新型コロナを契機に始めた「キュレーターズ・トーク」のYouTube発信やSNS広告により、美術館及び展覧会の魅力をより広く発信できたことが、展覧会の入場者数の増加に一定の効果があったと考えられる。

今後は、２０２５大阪・関西万博を見据え、国内はもとよりインバウンドの来館者も獲得するため、SNS等の活用や他館との連携による効率的、広範囲な情報発信に取り組む。

〔県立美術館王子分館の管理・運営（詳細）〕

兵庫県立美術館王子分館の指定管理者として、横尾忠則現代美術館において展覧会やコンサートなど各種催しを開催し、芸術文化に関する情報発信や情報収集を行った。また、原田の森ギャラリーでは、地域のプロ・アマチュア芸術家の発表の場としての役割を果たすよう管理・運営に努めた。

【所在地】 神戸市灘区原田通3丁目8番30号

【施設】 〈原田の森ギャラリー〉 本館（1・2階展示室）、東館（1・2階展示室）、会議室等（5室）

〈横尾忠則現代美術館〉 アーカイブルーム、展示室（2・3階）、コレクションギャラリー、休憩・交流スペース
オープンスタジオ、ミュージアムショップ、インフォメーション

〈喫茶棟〉

〈附属駐車場〉 31台

1 原田の森ギャラリーの管理・運営

（1）貸しギャラリー等の実施

公立美術館としては全国最大規模となる貸しギャラリーや実技教室を活用した洋画・日本画・書道・彫塑等の作品発表、並びに絵画教室等が開催されたとともに、造形芸術の活動・交流・情報発信拠点づくり及び創作活動の発表の場づくりに努めた。

【来館者数】 131,909人

【利用状況】 *（ ）内 対前年比

施設名	室数等	開館日数	利用日数	利用率等
展示室	4室	1,220日	1,116日（102.0%）	91.5%（102.3%）
会議室等	5室	1,525日	968日（97.5%）	63.5%（97.7%）
駐車場	31台	306日	305日（99.7%）	15,460台（96.4%）

【利用料収入状況】 *（ ）内 対前年比

区 分	金 額	区 分	金 額
展示室	22,195,400円（94.9%）	附属設備	435,920円（87.0%）
会議室等	5,864,410円（98.9%）	駐車場	8,212,800円（98.8%）
収蔵庫	6,087,900円（97.8%）	利便施設	520,939円（100.0%）
		合 計	43,317,369円（96.5%）

（2）ギャラリー運営会議の実施

広く公平・適正な利用を推進するとともに、効率的・計画的なギャラリー運営の円滑化を図るため、絵画、美術・工芸、書等の専門家で構成されるギャラリー運営会議を開催し、貸出計画案の承認を得た。令和5年度については、令和6年4月から令和8年3月までの利用調整のため、3回の運営会議を開催した。

第1回運営会議 令和5年5月19日／第2回運営会議 令和5年9月8日

第3回運営会議 令和6年2月9日

（3）情報の提供・広報

① ホームページの運営（<https://hyogo-arts.or.jp/harada>）

【内 容】施設概要、利用案内、空室情報、展覧会案内 等

② 催し物案内の配布

2 横尾忠則現代美術館の管理・運営

令和5年度は、横尾忠則氏の作品等が鑑賞できる展覧会を3本開催したほか、美術館4階に整備した「横尾忠則コレクションギャラリー」において、横尾氏が収集し、影響を受けた世界の著名作家の作品を展示した。

【来館者数】58,718人 【展覧会の入場者数】33,689人

(1) 横尾作品を中心とした展覧会の開催

展覧会名	横尾忠則 原郷の森
開催期間（日数）	令和5年5月27日(土)～8月27日(日)（80日）
入場者数（人）	10,346人（うち有料入場者5,595人、有料入場率54.1%）
展示内容	2022年に出版された小説『原郷の森』（文芸春秋）で取りあげられた横尾の作品を、小説から抽出した文言とともに展示することで、言葉のみで表された世界にイメージを加え立体的に構築することを試みた。横尾がつづる言葉と描く絵が織りなす森のような展示室に分け入り、半世紀以上の歳月をかけて形作られた横尾芸術を身体的に感じ取る機会とした。 【出品点数：約160点】
同時開催	YOKOO TADANORI COLLECTION GALLERY 2023 Part1 〔横尾が上梓した小説『原郷の森』に登場するフランス・ピカビア、ジョルジョ・デ・キリコなど西洋近現代美術の巨匠たちの作品を展示した。 【出品点数：14点】〕

展覧会名	Yokoo in Wonderland ―横尾忠則の不思議の国―
開催期間（日数）	令和5年9月16日(土)～5年12月24日(日)（86日）
入場者数（人）	10,069人（うち有料入場者7,435人、有料入場率73.8%）
展示内容	横尾作品のなかの「不思議」に焦点をあて、現実の延長にあるもうひとつの世界を、ルイス・キャロル作『不思議の国のアリス』及び『鏡の国のアリス』になぞらえて紹介。第1章「不思議の国」では、地底や海中、宇宙を舞台にした作品、第2章では「鏡の国」と題して、鏡を使用した作品やミラーイメージを用いた作品が、観る者を異世界へと誘った。第3章「夢の国」では、横尾が見た夢をもとに描いた《夢枕》全43点を一堂に展示した。 【出品点数：約150点】

展覧会名	横尾忠則 ワーイ！★Y字路
開催期間（日数）	令和6年1月27日（土）～5月6日（月）（86日）
入場者数（人）	6,421人（3月末時点の人数。うち有料入場者4,995人、有料入場率77.8%）
展示内容	横尾忠則のライフワーク「Y字路」シリーズを紹介した。2015年に当館で開催した2006年～2015年の作品による「横尾忠則 続・Y字路」を補完するもので、シリーズの原点である初期作品（2000年～2005年）、および新近作（2016年～）により、多彩な「Y字路」シリーズの魅力に迫った。 【出品点数：約70点】
同時開催	YOKOO TADANORI COLLECTION GALLERY 2023 Part2 〔横尾忠則のコレクションの中から、「風景」に関連する作品を〕 〔特集した。 【出品点数：13点】〕

(2) 貴重なアーカイブ資料の整理と公開

横尾氏から寄託されたイラストやポスター、デザイン原稿をはじめ、蔵書・関連記事の掲載誌、レコード収集品などのアーカイブ資料について、順次、整理・公開した。

また、資料整理をより円滑に行うため、博学連携として、県内の大学から博物館実習生やインターン生を受け入れた。

① 整 理

(ア) 整理済み資料 5,143 点（うちウェブサイト公開 3,993 点）＊個人情報を含む資料は除外

(イ) 実習生等の受入れ

- ・博物館実習生：甲南大学 2 名
- ・インターン生：神戸芸術工科大学 2 名

② 公開等

(ア) 整理済み資料については閲覧可能（無料、要予約、個人への貸出不可）

- ・これまでの利用実績：100 件（美術館関係者、研究者、学生等）

(イ) 企画展等での展示

(3) オープンスタジオを活用した多彩なイベントの実施

① 企画展関連事業

楽しく鑑賞できるよう見どころを学芸員が分かりやすく解説するキュレーターズ・トークを展覧会ごとに実施したほか、来館を促し集客につなげるため、その映像をホームページで公開した（YouTube 配信）。これらの動画は、1 階オープンスタジオでも常時放映しており、作品鑑賞前後の来館者によく視聴され、好評である。

また、現在はジャズピアニストとして活躍し、横尾氏と交流のある大江千里氏が「原郷の森」の展示を背景にピアノ演奏を行い、その映像も配信している。

〔横尾忠則 原郷の森〕

（令和 6 年 3 月末時点）

事 業 名	開催・配信日	出演者・講師	参加者数
キュレーターズ・トーク	R5. 6. 17 7. 15 8. 12	当館学芸員	114 人
PR 動画	R5. 6. 14～	同 上	視聴数 1,949 回
ギャラリートーク動画	R5. 6. 22～	同 上	視聴数 3,183 回
横尾忠則×大江千里 Senri Meets Tadanori - forest in soul -	R5. 9. 25～	大江 千里	視聴数 5,807 回
計			11,048 人・回 (うちオンライン 10,939 回)

〔Yokoo in Wonderland -横尾忠則の不思議の国-〕

（令和 6 年 3 月末時点）

事 業 名	開催・配信日	出演者・講師	参加者数
ギャラリーツアー	R5. 10. 7 11. 18 12. 16	当館学芸員	78 人
PR 動画	R5. 10. 12～	同 上	視聴数 1,548 回
ギャラリートーク動画	R5. 10. 13～	同 上	視聴数 3,583 回
計			5,209 人・回 (うちオンライン 5,131 回)

〔横尾忠則 ワーイ！★Y字路〕

(令和6年3月末時点)

事業名	開催・配信日	出演者・講師	参加者数
キュレーターズ・トーク	R6. 2. 17 3. 16	当館学芸員	81 人
PR 動画	R6. 2. 17～	同 上	視聴数 2,055 回
ギャラリートーク動画	R6. 2. 17～	同 上	視聴数 1,252 回
計			3,388 人・回 (うちオンライン 3,307 回)

② オープンスタジオコンサート等（当館1階）

地域のにぎわいづくりと、当館の新たなファン層の拡大をめざし、蓮沼執太氏らによる「ひょうごプレミアム芸術デー」特別イベントをはじめ3つのコンサートを開催した。

イベント名	開催日	出演者	参加者数
灰野 敬二 蓮沼 執太 サウンドパフォーマンス	R5. 7. 16	灰野 敬二 蓮沼 執太	130人
1 DAY JAZZ ROAD レコードコンサート (1 DAY JAZZ ROAD実行委員会主催)	R5. 11. 4	三浦 紘明	150人
461 モンブラン ～水仙月の幻想音楽会～	R6. 2. 12	森 裕介 山下 カナ	100人
計			380 人

（4）作品・資料等の保存・修復活動

収蔵作品及び資料を良好な状態で保存するため、劣化要因（温湿度、光、空気汚染物質、有害生物など）を制御、排除することで、館内環境を良好に保つよう努めた。修復に際しては、作品のオリジナル性を熟慮したうえで作品の現状維持修復を原則に必要な最小限度の修復処置を心がけるとともに、電気製品を用いた作品やその他ミクストメディア作品については、各分野の専門家と協力し多角的な視点で修復に取り組んだ。

（5）ひょうごプレミアム芸術デーの実施

令和4年度から芸術文化を気軽に楽しめる機会として、県立芸術文化施設を無料開放する「ひょうごプレミアム芸術デー」が設定され、当館でも実施した。

期 間：令和5年7月11日～17日（7日間）

内 容：展覧会の無料開放（入場者数 2,453人）

自由に話せる観覧日（7月15日）

特別イベント

・蓮沼 執太サウンドインスタレーション（R5. 7. 11～7. 17）

・灰野 敬二 蓮沼 執太 サウンドパフォーマンス（R5. 7. 16）

（6）連携によるにぎわいづくり

① 地域との連携

（ア）地域住民・商店街等との連携

- ・駅、商店街等へのポスターやチラシの配布
- ・地元関係者の内覧会への招待
- ・「ミュージアムロード美術館応援店MAP」取組への参画
- ・神戸海星女子学院大学大学祭、灘チャレンジ実行委員会（神戸大学学生を中心に運営）等への協賛

(イ) 美かえるカラフルマルシェの開催

ミュージアムロード沿いの阪神電鉄、シマブンコーポレーション、地元商店、県立美術館と共催するアートを軸とした賑わいづくりイベント。(平成28年～)

ワークショップやグルメ&物販など家族で楽しめるイベント形式で開催され、当館は、兵庫教育大学と連携し、産業活動から生じた余剰品を活用してお面を作るワークショップを実施した。

② 団体等との連携

日本自動車連盟 (JAF)、コープこうべ等と団体割引提携を行い、会員等の来館促進を図った。(令和5年度実績/JAF: 808人、コープこうべ757人)

③ 他館との連携

(ア) 周辺文化施設(神戸文学館、王子動物園、BBプラザ美術館、県立美術館 等)

- ・相互のポスター・チラシの掲示
- ・県立美術館とは、半券提示での相互割引を実施

(イ) 国内の美術館等

- ・横尾氏関連の美術館として広報連携 豊島横尾館、西脇市岡之山美術館
- ・せとうち美術館ネットワーク(関西～九州の86施設が参加)や「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト(兵庫、岡山、香川県内の8館で構成)への参画
- ・KOBEMUSEUMリンク(神戸市内の美術館・博物館・資料館21館で構成)への参画
- ・作品、アーカイブ資料等の貸出
ギンザ・グラフィック・ギャラリー「横尾忠則 銀座番外地」展
川崎市岡本太郎美術館ほか全国5会場「顕神の夢」展
徳島県立文学書道館「寂聴 美のコレクション」展

(7) 情報の提供・広報

『横尾芸術の一大拠点』、『様々な芸術に触れることのできる場』、『国内外の美術館等との連携』、『参加・体験型のミュージアム』といった当館の魅力を、様々な媒体により、幅広い層に伝えるとともに、ミュージアムロードをはじめとする地域との連携も図りながら、効果的な広報活動を展開。

① 展覧会毎の取組

- (ア) 県庁記者クラブへの情報提供、記者説明会の開催
- (イ) 横尾氏がデザインしたチラシ・ポスター等の配布
- (ウ) 神戸街めぐり 1 day クーポンや神戸観光スマートパスポートでの販売(神戸観光局)や、オンラインでのチケット販売(楽天チケット、ソノリゴ)
- (エ) 交通広告(阪急、山陽)の実施
- (オ) 三宮センター街へ展覧会 PR 用大型懸垂幕を設置
- (カ) 展覧会関連事業を通じた話題づくり(動画配信など)
- (キ) SNS 広告の活用(Facebook/Instagram、ホームページ誘導 8,059 回)やアート系インフルエンサーとの連携による発信

② 年間を通じた取組

- (ア) マスメディアの活用
 - ・テレビ・ラジオのニュース・特集番組、新聞・雑誌等
- (イ) 県広報誌(県民だよりひょうご)、兵庫ジャーナル等
- (ウ) 国際的な PR
 - ・英語字幕付きの YouTube 動画の制作・配信
 - ・神戸 PR アンバサダー(在住外国人)の展覧会招待及び参加者による SNS 発信
- (エ) インターネットによる情報発信(<https://www.ytmoca.jp>)

- ・館ホームページ、X（旧ツイッター）、フェイスブック、インスタグラム
- ・フォロワー数約 35 万人を持つ横尾氏の X（旧ツイッター）との連携
- ・当館公式ユーチューブチャンネルを開設（R2 年 8 月～）

ギャラリートーク（字幕：日・英）や当館学芸員が美術館の仕事の概要を語る「Y+TMOCA の舞台裏」（字幕：日・英・中・韓）を配信

（オ）各種情報誌、フリーペーパー等への掲載

（カ）横尾氏の連載

- ・週刊新潮「曖昧礼賛ときどきドンマイ」
- ・月刊神戸っ子「神戸で始まって神戸で終る」

〔参考：掲載等の状況〕

	新 聞
横尾忠則 原郷の森	特集記事（展評等） 4 回 案内記事（開催情報等） 42 回
Yokoo in Wonderland － 横尾忠則の不思議の国－	特集記事（展評等） 1 回 案内記事（開催情報等） 23 回
横尾忠則 ワーイ！★Y 字路	特集記事（展評等） 3 回 案内記事（開催情報等） 23 回

3 その他、施設利用者の利便向上への取り組み（収益事業）

- ・有料駐車場の運営（時間貸、収容台数 31 台）
- ・カフェスペースの貸出（横尾忠則現代美術館）
- ・関連グッズショップのショップ設置・運営（横尾忠則現代美術館）
- ・飲料自動販売機の設置（2 台）

〔兵庫県民会館の管理・運営（収益事業）〕

当協会は、平成 18 年度から 6 期 18 年にわたり兵庫県民会館の指定管理者として管理運営を担っており、広く県民にホール・会議室等の施設を提供するなか、運営経費のコスト削減、経営の合理化に努め、芸術文化に親しむ環境の更なる充実を図った。

当会館では、利用者の安全・安心を確保するため、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し万全の対応を図るとともに、ネット会議や配信事業での利用に向けた貸館部門の通信環境（LAN、Wi-Fi）の整備・向上や、特別展示室の空き期間を活用した作品展示など、会館の利用拡大や賑わいづくりのための取り組みを行った。

また、兵庫県が実施する耐震診断（時刻歴応答解析）が円滑に実施されるよう、施設利用者への周知や当該業務の調査に協力した。

【所在地】 神戸市中央区下山手通 4 丁目 1 6 番 3 号

【施設】 パルテホール（収容 144 人）、けんみんホール（客席数 360 席）、会議室（18 室）、集会室（3 室）、宴会室（3 室）、時間貸駐車場（36 台）、月極車庫（44 台）、団体事務室（21 団体）、営業店舗（2 業者）、アーティストサロン、兵庫県民アートギャラリー（4 室）

1 利用状況等

【来館者数】 4 4 9, 3 1 1 人

【利用状況】 (単位：日、％又は台、()内対前年比)

施設名	室数等	開館日数	利用日数	利用率
パルテホール	1 室	356	265 (115.7%)	74.4 (115.3%)
けんみんホール	1 室	356	246 (97.6%)	69.1 (97.3%)
会議室	18 室	6, 408	3, 964 (103.1%)	61.9 (102.8%)
集会室 (和室)	3 室	1, 068	593 (118.4%)	55.5 (118.1%)
宴会室	3 室	1, 068	682 (101.8%)	63.9 (101.6%)
アートギャラリー	4 室	1, 424	641 (106.0%)	45.0 (105.6%)
時間貸駐車場	36 台	366	366 (100.3%)	36,829 台 (104.3%)
月極車庫	44 台	12ヵ月	12ヵ月	497 台 (94.7%)

【利用料収入状況】 (単位：円、税込)

施設名	金額 ()内対前年比	施設名	金額 ()内対前年比
パルテホール	26,362,800 (122.7%)	事務室及び倉庫	30,242,645 (99.6%)
けんみんホール	12,420,610 (91.1%)	利便施設	540,027 (100.0%)
会議室	31,494,350 (105.2%)	月極車庫	17,892,000 (94.7%)
集会室 (和室)	2,056,100 (114.1%)	時間貸駐車場	30,947,300 (105.0%)
宴会室	11,916,500 (103.1%)	その他 (附属設備)	162,690 (77.9%)
アートギャラリー	13,362,850 (107.9%)	合 計	177,397,872 (104.2%)

2 ギャラリー運営会議の開催

公平・適正な利用を確保するとともに、効率的・計画的なギャラリー運営の円滑化を図るため、絵画、美術・工芸、書等の専門家で構成されるギャラリー運営会議（3 回）を開催し、貸出計画案の承認を得た。

- ・第 1 回運営会議 令和 5 年 5 月 1 9 日
- ・第 2 回運営会議 令和 5 年 9 月 8 日
- ・第 3 回運営会議 令和 6 年 2 月 9 日

3 施設利用者の利便向上への取り組み

- ・有料駐車場の運営（時間貸：収容台数36台、月極：収容台数44台）
- ・喫茶等のスペースを貸出
- ・飲料自動販売機の設置（8台）
- ・図書頒布販売、他主催入場券等の受託販売

4 耐震診断への協力

- ・施設（貸館）利用者向け、対面・ホームページ・SNS等による周知
- ・入居団体向け説明会の開催、移転時期等の協議・調整
- ・地質調査、コンクリートコア調査の実施協力

【耐震診断結果に伴う施設利用等】

診断結果	令和6年度		令和7年度		令和8年度
倒壊に至る可能性がある	通常利用 R6.4～9	貸館利用停止 R6.10～ 入居団体移転 ～R6.12末	全館全体利用停止 (一時閉館)		全館全体 利用停止 (一時閉館)
倒壊しにくい	通常利用		通常利用	貸館利用停止 R8.1～ 入居団体移転 ～R7.12末	
倒壊しない					

〔兵庫県民会館の管理・運営（評価）〕

1 利用状況等

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変更され、施設利用に改善傾向が見られるが、対面会議の減少等と相まって会議室等の利用は微増にとどまっている。

(会議室利用率 H30:71.9%→R1:70.8%→R2:54.1%→R3:52.7%→R4:60.2%→R5:61.9%)

また、利用の回復傾向に伴い、施設利用収入も対前年度比4.2%の伸びを確保できたが、耐震診断の実施・休館の可能性等の公表後、定期的利用者の流失等による減収があり、県より還付金の減額措置を受け、収支均衡を図ることができた。

(参考：利用料収入の対平成30年度比93.8%)

2 施設・設備改修

県民会館は築55年以上が過ぎており、施設利用者に安全に安心して利用していただくため、施設・設備の改修やメンテナンスを適時適切に行なっている。また、県予算2,794千円を確保して、中央監視盤室や保安室の空調設備更新や月極車庫の補修など、喫緊の施設設備改修に努めている。

【県民会館の指定管理】

当協会は、指定管理者制度が始まった平成18年度から指定管理者として県民会館の運営を安定的かつ効率的に行ってきており、毎年度実施している利用者アンケート（7月と3月の2回実施）では、「職員・スタッフの対応」は84.3%の人が満足、「利用料金の設定」は78.2%が適正と回答しており、管理・運営の各項目で、概ね良好な評価を得ている。

一方、「施設設備の状態」や「施設の清潔さ」については、「満足」は50%程度にとどまっている。